

ガールズバンドと過ごす日常 番 外編2

リゲイン

この回はスーパー戦隊についての解説を行います

目次

スーパ―戦隊解説	1
スーパ―戦隊解説	2
スーパ―戦隊解説	3
スーパ―戦隊解説	4
スーパ―戦隊解説	5
スーパ―戦隊解説	6
スーパ―戦隊解説	7
スーパ―戦隊解説	8
スーパ―戦隊解説	9
スーパ―戦隊解説	10
スーパ―戦隊解説	11

スーパ―戦隊解説	24
スーパ―戦隊解説	23
スーパ―戦隊解説	22
スーパ―戦隊解説	21
スーパ―戦隊解説	20
スーパ―戦隊解説	19
スーパ―戦隊解説	18
スーパ―戦隊解説	17
スーパ―戦隊解説	16
スーパ―戦隊解説	15
スーパ―戦隊解説	14
スーパ―戦隊解説	13
スーパ―戦隊解説	12

スーパ―戦隊解説	37
スーパ―戦隊解説	36
スーパ―戦隊解説	35
スーパ―戦隊解説	34
スーパ―戦隊解説	33
スーパ―戦隊解説	32
スーパ―戦隊解説	31
スーパ―戦隊解説	30
スーパ―戦隊解説	29
スーパ―戦隊解説	28
スーパ―戦隊解説	27
スーパ―戦隊解説	26
スーパ―戦隊解説	25

スーパ―戦隊解説	49
スーパ―戦隊解説	48
スーパ―戦隊解説	47
スーパ―戦隊解説	46
スーパ―戦隊解説	45
スーパ―戦隊解説	44
スーパ―戦隊解説	43
スーパ―戦隊解説	42
スーパ―戦隊解説	41
スーパ―戦隊解説	40
スーパ―戦隊解説	39
スーパ―戦隊解説	38

スーパー戦隊解説 1

ジャッカル「よっしゃ、今回はカシヤの時に出来たスーパー戦隊の解説やるぞ」
紗夜「急にどうしたんですか？」

ジャッカル「ああ、気まぐれだ」

あこ「やっぱり最初は、マジレンジャーからですか？」

ジャッカル「いや順番にやっていく最初の戦隊は秘密戦隊ゴレンジャーだ、物語の始まりは、世界征服をたくらんだ、黒十字軍が北海道 東北 関東 関西 九州のイーグル支部を襲撃し壊滅させてしまう」

千聖「まさかの組織壊滅ってやるわね」

ジャッカル「だが生き残った者達がいた、秘密工作のスペシャリスト 海城剛

東北支部の分隊長 新命明 精密技術班員 大岩太太 化学分析班員 ペギー松山
新人隊員の明日香健二が新宿の秘密基地に呼び寄せられた」

彩「組織が壊滅したのに運がいいね」

ジャッカル「ああ、そして初めにイーグル北海道支部を襲った黄金仮面と対決し、

必殺技である、ゴレンジャーストームで倒し、そして武者仮面 青銅仮面 ヒスイ仮面 毒ガス仮面を撃破。各支部の仇を取る、だが組織の仇である黒十字軍は存在している」

美咲「ここからが、黒十字軍との戦いが始まったってこと」

ジャッカル「ああ、次は、ゴレンジャーのマシンだな、まずはバリブルーン、これはクレーンやマジックハンドあとは、ミサイルなどを搭載している」

巴「つまり、戦闘や救助に向いてるってことか」

ジャッカル「ああ、そうだ、次は、気球船型マシン バリキキューン、これは、主にスパイ戦用のメカだ、ステルス機能を持っている、メカについては簡単にここまでだ、次は敵組織、黒十字軍についてだ、こいつらはギャグ要素が多い」

有咲「マジか」

ジャッカル「まずはボスである黒十字総統だ、だが、こいつの正体は黒十字城だ」
香澄「デカッ」

ジャッカル「次は、幹部クラスだ日輪仮面 鉄人仮面テムジン將軍 火の山仮面 マグマン將軍 ゴールデン仮面大將軍だ」

あこ「幹部ってことだし強そう」

ジャッカル「まあ、後から説明する、そして、戦闘員のゾルダーだな」

つくし「そういえば怪人がギャグ要素があるって」

ジャッカル「ああ、そうだ、ちなみにやられ方もギャグだな、次はここで、ゴレンジャーの必殺技ゴレンジャーストームだ、あともろギャグな技ゴレンジャーハリケーンだ、今回は、ゴレンジャーハリケーンを解説していくか」

たえ「なんかかっこいい技名だけどギャグ要素って」

ジャッカル「ああ、ギャグ要素の強めな、マグマン將軍だ」

紗綾「確か、マグマン將軍って、黒十字軍の幹部ですよね」

ジャッカル「ああ、ちなみにその倒し方がゴレンジャーハリケーン 卵だ」

全員「はっ？」

ジャッカル「ちなみにこいつは生の状態では食べられないから自分の頭部の火山で温め食ってしまいドカン」

友希那「ふふっ、卵で倒されるって」

ジャッカル「次は、アバラ仮面」

ましろ「うわっ、気持ち悪い」

ジャッカル「こいつは、アバラミサイルを放つ」

瑠唯「どっちかというと、爆弾な気が」

モカ「そういえばギャグというと」

ジャッカル「こいつはゴレンジャーハリケーン 鶏ガラスープで鶏がらスープを

飲み爆死する」

薫「なんというか、は、儂い」

こころ「さすがにこれは耐えないわね」

ジャッカル「最後に、キレンジャーの交代劇を解説しておくか」

リサ「あれっ、途中で変わっちゃうんですか？」

ジャッカル「ああ、大岩が九州支部教官に栄転したため成績優秀の熊野大五郎が

キレンジャーに選ばれた、今日はここまでだ」

あこ「まさか、ここまでギャグ強めだったとは」

隣子「これは耐えられない」

スーパー戦隊解説 2

ジャッカル「今回は、この戦隊だ」

彩「今回は、トランプ？」

ジャッカル「ああ、ジャッカル電撃隊だ、あらすじは首領アイアンクロウが率いる犯罪シンジゲート クライムの暗躍に際し、国際科学特捜隊長官の桜井大輔が桜井五郎 東竜 カレン水木 大地文太の4人を集める」

はぐみ「ということは、この4人がジャッカルになるんですね」

ジャッカル「ああ、そしてこの戦隊ではあと一人出てくるがのちに解説する、まずは、スピードエースの桜井五郎から、こいつは、元オリンピック近代五種競技ゴールドメダリスト」

花音「近代五種競技って？」

ジャッカル「フェンシング 競馬 水泳 陸上 射撃のことだ、そして鯨井にスカウトされるが親からもらったからだを大事にしたいとのことでスカウトを断るがクライムのカレン襲撃現場に遭遇しサイボーグ手術を受け核エネルギーのスピード

エースになる」

七深「いうことは、全員サイボーグってことですか？」

ジャッカル「ああ、次はボクシング元ジュニアウェルター級世界ランキング第2位のボクサー 東竜をスカウトするとサイボーグ手術を受け電気の力を持つダイヤモンドになる」

ロック「あれっ、もしかしてトランプを」

ジャッカル「ああ、次は元麻薬Gメンのカレン水木。クライム傘下の麻薬ルート摘発後、クライムの報復を受け父親を亡くし自身も事故で右腕を失う瀕死の重傷を負わされるが桜井に救出せられ敵を取るためにサイボーグ手術を志願し磁力エネルギーの力を持つハートクインになる」

あこ「でも右腕を失うほどの事故ってクライムって連中やばいよね」

彩「そうだよね」

ジャッカル「そして最後は元国際科学特捜隊員で海洋学者の卵で鯨井の弟子にあたる大地文太だ、彼は実験中の事故で酸欠状態で窒息死したため鯨井らのサイボーグ手術を受ける」

千聖「あれっ、今回は、クライムは関係ないのね」

ジャッカル「ああ、そして重力エネルギーのクロージャーキングとなる。次は敵組織のクライムだ。ボスは鉄の爪だが、真の支配者がシャインだ。そして幹部はクライムボス、こいつらは人間だ」

マスキング「おいおい、人間の幹部かよ」

ジャッカル「だが、失敗した場合は鉄の爪に処刑される。そして前回の仮面怪人のポジションはデビルロボットと呼ばれる機械怪物だ、そして戦闘員はクライマーだ」

麻弥「そういえば主力の戦力もあるんですね」

ジャッカル「ああ、まずは個人武器。スピードアーツ ダイアソード ハート キュート クラブメガトンだ。そして空の要塞スカイエースだ。あとは必殺技のジャッকারコバックだ。今日はここまで」

チュチュ「そういえばニューヒーローが出てくるっていましたよね」

ジャッカル「ああ、そうだったな、その名もビッグワン」

パレオ「すごいのできましたね」

ジャッカル「彼はニューヨーク本部科学技術庁長官となった鯨井の後任として彼
番場壮吉が来た」

美咲「あれっ、この人。新命さん？」

りみ「違うよ。V3の風見って人じゃない？」

ジャッカル「役者は同じだ。彼は核 電気 磁力 重力の4大エネルギーをす
べて併せ持つ、武器はビッグバトンだ。そしてここから、ビッグボンバーと呼ばれ
る武器が出てきた敵の弱点に変身する」

つぐみ「それってゴレンジャーハリケーンみたいなギャグ要素が？」

ジャッカル「そうだ、その中でのギャグ要素のあるものを解説すつか。まずは、
コブラ大神官戦で使った、ビッグボンバー アフリカ像だ」

ひまり「アフリカ像って確か危険だよね。ってあれ完全に着ぐるみ感がすごい」
ジャッカル「そうだな、ちなみに最後は、ラスボス戦士鉄の爪戦で使ったビッグ
ボンバー どぶねずみだな」

蘭「あれっ、ラスボスなんですよね。それがねずみにかまれて倒されるって」
ジャッカル「今日はここまでだな」

ましろ「まさか、後半からギャグ回に移行するとは」
彩「そうだよね」

スーパー戦隊解説3

ジャツカル「次は、初の巨大ロボットが出てきたバトルフィーバーJだ」

有咲「いやいやいや、ツツコミどころがあるんだが、しかもピンクがかなり違和感があるんだが」

ジャツカル「まあ気にするな、あらすじとしては世界各地に怪奇現象が起こるこの中、謎のコウモリ傘の女によって国防省幹部が次々に殺害される、それを知った倉間鉄山将軍は世界各国に派遣されていた対エゴスの秘密部隊バトルフィーバー隊に調査を命じこうもり傘の女を見つける」

イヴ「あれっ、さっきと違いますね」

ジャツカル「ダイアンマーチンと出会う」

たえ「あっ、別人だったんだ」

ジャツカル「ああ、ここからメンバー解説するが、伝正夫 国防省の元将校で天才的頭脳を持ちバトルジャパンになる 白石謙作元国防相の兵器担当で初代バトルコサックとなる」

あこ「あれっ、初代ってことは」

ジャツカル「ああ、バトルコサックとミスアメリカが交代する」

燐子「二人も変わるんですね」

ジャツカル「ああ、次は志田京介 フランス帰りの美容師でバトルフランスになるそして曙四郎 野生児でケニアで訓練を受けバトルケニアに変身、最後ダイヤモンドチンFBI秘密捜査官で初代ミスアメリカに変身する、戦力はバトルシャークと呼ばれる戦闘母艦そしてバトルフィーバーロボだ」

千聖「そういえばそのコウモリ傘の女って何者なんですか？」

ジャツカル「ああ、こいつはエゴスの怪人コウモリ怪人だ」

瑠唯「これコウモリには見えないわね」

ジャツカル「そしてエゴス側だな、エゴスはサタンエゴスを信仰する秘密結社だ」
ひまり「それって一種の宗教ですか？」

ジャツカル「そう思ってくればいい、ボスはサタンエゴスだ、そして幹部はヘッダー指揮官 サロメだ、敵はエゴス怪人で戦闘員はカットマンだ」

あこ「そういえば、巨大ロボが出てくるってことは、敵も巨大化するんですか？」

ジャッカル「いや、敵は悪魔ロボットとよばれるエゴス怪人の弟や妹だ、エゴス怪人の断末魔や呼び声によって現れる」

花音「そういえばバトルコサックとミスアメリカが交代するって」

ジャッカル「そうだな、バトルコサックは第33話コサック愛に死すにて戦闘員のカットマンにより銃殺、ミスアメリカは第24話 涙！ダイアン倒るにて妹がエゴスに誘拐されエゴスから救い出すもドラキュラ怪人に吸血牙攻撃により倒れると妹の護衛役だった汀マリアにバトルスーツを託し妹とともにアメリカへ帰国する、今日はここまでだな」

美咲「なんか、エゴス怪人って個性的なのが多いね」

こころ「そうね」

スーパー戦隊解説 4

ジャッカル「今回は、この戦隊だ電子戦隊デンジマン」

こころ「あらっ、デンジマンはどんな戦隊なのかしら？」

ジャッカル「デンジマンは初の変形してロボットになった初の戦隊だ」

はぐみ「確かバトルフィーバーロボは合体変形しなかったよね」

ジャッカル「ああ、物語の初めは3000年前にデンジ星を滅ぼした異次元人の一族ベーター一族が地球に飛来地球を総へドロ化をたくらむ、しかし、デンジ星人の生き残りはベーターに立ち向かうため科学力を集結し巨大宇宙船デンジランドを地球に送り込みロボット犬アイシーは地球にいるデンジ星の末裔を探し出しデンジリングを与える」

あこ「デンジリングって指輪ですか？」

ジャッカル「ああ、赤城一平 デンジマンのリーダーで武道家だ、デンジレッドに変身する 青梅大五郎 元サーカス団員の花形でデンジブルーに変身する、そして黄山純 知能指数200を誇る天才大学生で宇宙物理学を専攻しておりデンジイ

エローに変身する」

美咲「そういえば、変身前の名前と変身後の色があつてゐるわね」

ジャッカル「確かに、緑川達也 元警視庁城南署の刑事で父親をベーター怪人のムササビラーに殺される、デンジグリーンに変身する 最後は桃井あきら 元テニスプレイヤーでデンジピンクに変身する、共通武器はデンジパンチ合体技はデンジブルーメランだ、そして戦力はダイデンジンだ」

千聖「それにしても、そのベーターでどんな奴らなのかしら？」

ジャッカル「ベーターのボスはヘドリアン女王そして幹部はヘドラー將軍ミラーとケラー戦闘員はダストラーだ、そして第三勢力としてバンリキ魔王だ、そして、この作品から、怪人が巨大化する」

あこ「そうなんですか？」

ジャッカル「ああ、デンジブルーメランで倒された、ベーター怪人は自らの細胞体の配列を組み替えることで、巨大化や元の大きさに戻る」

彩「そうだったんですか」

ジャッカル「ベーターは手始めにムササビラーを送り込むとデンジブルーメランで

撃破するとムササビラーが巨大化するがダイデンジンの電子満月斬りを受け何とか、ムササビラーを撃破」

マスキング「そういえば、変形って言ってたがダイデンジンは合体変形したのか？」

ジャッカル「ああ、デンジファイターが変形した姿だ、ほかにもデンジタイガーも戦力だ」

たえ「そうなんですか？」

ジャッカル「ああ」

彩「そういえば、このハンバーガーみたいなベーダー怪人ってなんなんですか？」

「

ジャッカル「ああ、そいつは、ナンバー09 ハンバラーだ」

紗夜「なんか、おいしそうな見た目してるわね」

ジャッカル「初登場は第10話魔法力り大好きに登場、一度油で揚げないと孵化しないハンバーガー型の卵から生まれた」

日菜「そうなんだ」

ジャッカル「こいつは、ハーブを使った催眠音楽と自分から放つ匂いを使って泥のように不味いヘドロ入りハンバーガー　ヘドロハンバーカーを食わせ人間を狂わせるために送り込まれた怪人だ」

彩「そんなまずいハンバーガー食べたくない」

ジャッカル「ヘドロハンバーカーは、一度食べばほかのものが食べられなくなり食べ続ければ聴覚や資格にも異常がおよびヘドロの毒で死亡する」

マスキング「見た目によらずやばい作戦を実行するなこいつ」

ジャッカル「こいつは青梅大五郎まで毒牙にかけ、小学校の給食にヘドロ入りハンバーガーを混入させようとしたがデンジブーメランで倒されデンジ剣電子満月斬りで倒される、今日はここまでだ」

彩「うわあ、ハンバラってベーター怪人やばいよ」

千聖「そうね、変なものを食べてはいけないっていういい例ね」

スーパー戦隊解説 5

ジャッカル「今回は、こいつらだ、太陽戦隊サンバルカン、この戦隊は女性戦士がおらず最後まで男性3人だってことだ」

あこ「めずらしいですね」

ジャッカル「ああ、そうだ、あらすじは、ベーター一族はバンリキ魔王の反乱とデンジマンに倒されたがほどなくして北極に本拠を置く機械帝国ブラックマグマが世界征服を目指して動き始める、これに対抗すべき地球平和守備隊の設立を決定そして嵐山長官が率いる特殊部隊太陽戦隊サンバルカンの結成をする」

彩「なんか、軍人っぽいですね」

ジャッカル「ああ、メンバーは、初代バルイーグル 大鷲龍介 元地球平和守備隊の空軍将校」

千聖「ということはバルイーグルは交代したんですね」

ジャッカル「ああ、そうだ、そして二代目バルイーグル 飛羽高之 元地球平和守備隊の空軍将校で大鷲とは同期だ、彼は、大鷲がNASAのスペースコロニー開

発計画の設計と入れ変わりにバルイーグルになる、次はバルシャーク鯨島欣也 元地球守備隊の海軍将校で海洋学者だ」

美咲「サンバルカン陸 海 空なんですね」

ジャツカル「ああ、バルシャークは水中だけでなく地上戦でも突進攻撃もしかけパワーもすごい、そしてバルパンサー豹朝夫、彼は地球平和守備隊レンジャー部隊将校だ、メンバーの中では一番年下だ、そして身軽さと力技が特徴でがけのぼりや地中移動も可能だ、共通武器はバルカンスティックそして合体技はバルカンボールやニューバルカンボールだ」

あこ「そんなんですか？」

ジャツカル「ああ、巨大戦力はジャガーバルカンとコズモバルカンが合体変形したサンバルカンロボだ、次はブラックマグマだ、真の支配者は全能の神だ、こいつは、嵐山長官によって倒された、ちなみに嵐山長官は普通の人間だ」

有咲「いやいやいや、人間に倒されるラスボスって」

ジャツカル「そして幹部は、ヘルサターン総統 ヘドリアン女王あとはデンジマンの時に言い忘れたアマゾンキラー ゼロガールズ イナズマギンガーだ」

瑠唯「確か、ヘドリアン女王も出てきたんですね」

ジャッカル「ああ、そして怪人は、機械生命体で戦闘員はマシンマンだ」

あこ「そうなんですね」

ジャッカル「ああ、そうだ」

ましろ「そういえば 36 37 話のサブタイトルが短いんですがなぜですか？」

ジャッカル「ああ、それは人気アイドル・三原順子さんの出演を新聞のテレビ欄に記載する余地を確保するためであり同話数はこうした手法の先駆けに当たる」

つくし「そうだったんですね」

ジャッカル「そういうことだ、今日はここまでだ」

彩「まさかヘドリアン女王が再び出るとは」

あこ「そうだね」

スーパー戦隊解説 6

ジャッカル「よっしゃ、今回も第6回だ」

友希那「今回は、どんな戦隊なのかしら？」

ジャッカル「今回は、大戦隊ゴーグルファイブだ」

あこ「ゴーグルファイブはどんな戦隊なんですか？」

ジャッカル「ゴーグルファイブのあらすじは、日本人の若き冒険家 赤間健一はドイツ山中の洞窟を探検中に謎の集団に襲われてる初老の男性を救う」

リサ「その謎の集団が今回の敵組織なんですね」

ジャッカル「その男性は未来科学研究所の本郷博士で自分を襲っていたのは暗黒化学デスダークだという」

巴「今回は、デスダークって連中が相手なのか？」

ジャッカル「ああ、そこでゴーグルファイブのメンバーだ、赤間健一」

瑠唯「確か、冒険家だっていう」

ジャッカル「ああ、冒険家でルビーとアトランティス文明をモチーフとしている

ゴーグルレッドに 黒田官平 東都大学将棋部部長でエメラルドとアジア文明を象徴するゴーグルブラックになる」

美咲「そういえば、今回は宝石と古代文明がモチーフになってるんですね」

ジャッカル「ああ、青山三郎 アイスホッケーの花形選手でサファイアとエジプト文明を象徴するゴーグルブルーに 黄島太 動物園の飼育係でオパールとムー文明を象徴するゴーグルイエロー 桃園ミキ 新体操選手でダイヤとマヤ・インカ文明を象徴するゴーグルピンクになる」

つくし「そういえば、デンジマンと同じで変身前の名前と変身後が同じなのね」
ジャッカル「ああ、そして個人武器はレッドロープ ブラッククラブ ブルリーニング イエローボール ピンクリボンだ 巨大戦ではゴーグルロボで戦う、必殺技は、ゴーグルビクトリーフラッシュ後半はゴーグルゴールデンスピアーだ」
はぐみ「クラブにロープにボールそれって全部、新体操で使うものだよな」

ジャッカル「ああ、そして敵のデスダークについてだ、ボスは総統タブーそして幹部はデスギラー將軍 ゼノビア マズルカ イガアナ博士 ザゾリヤ博士 デスマルク大元帥 ベラとベスだ、今作の怪人は合成怪獣通称モズーと呼ばれる」

燐子「そういえば巨大化方法は？」

ジャッカル「今回は、巨大化するってことはない」

モカ「じゃあどうするんですか？それではゴーグルロボの順番は」

ジャッカル「それなら安心せい、今回は巨大ロボット通称コングを使う」

千聖「コング？」

ジャッカル「ああ、例えばカマキリモズーの場合はカマキリコング カッパモズーならカッパコングだが最初のカイモズーはなぜかファンコングだ、それは4話のクモモズーまでは違うだな」

ましろ「そうなんですな」

ジャッカル「そうだ」

紗夜「そういえば、なぜ後半から技が変わったんですか？」

ジャッカル「それは第34話 出た！黄金必殺技にて体がネオメタル金属原子でできているワニモズーがゴーグルビクトリーフラッシュが聞かないため、この技で対抗した、それ以降この技が必殺技になっている今日は、ここまでだ」

こころ「なんか、新体操やりたくなってきたわね」

はぐみ「そうだね」

薫「じゃあ、帰ったらやろうか」

スーパー戦隊解説7

ひまり「そういえば、今回で7回目だね」

つぐみ「7番目の戦隊ってなんだろう」

ジャッカル「今回は爆発がマジでやばい戦隊、科学戦隊ダイナマンだ、あらすじは太古の昔に落下した隕石の微生物が地底で進化して生まれた有尾人の一族ジャンカ帝国が現れる、彼らは、地上にあこがれており、人類よりの科学で地上を侵略しようとしていた」

美咲「今回は地底人が相手なんですネ」

ジャッカル「ああ、そしてダイナマンのメンバーだが」

燐子「一ついいですか？」

ジャッカル「なんだ？」

燐子「幹部たちの尻尾の意味って？」

ジャッカル「ああ、それね、階級だよ、ダイナマンのメンバーは弾北斗 ダイナマンのリーダーで科学者の卵と同時にモトクロスの腕もかなりいい武術や二刀流で

戦うダイナレッドに変身 星川竜 ダイナブラック」

日菜「あれっ、この人、ゴーグルブラックの」

ジャッカル「役者は同じだ、彼はUFOと交信し友達になることを夢見る、伊賀流忍者の子孫だ」

イヴ「忍者、かっこいいです」

ジャッカル「忍法を得意とするダイナブラックに変身する、島洋介 ダイナブルーだ、若き海洋学者で水中戦を得意とするダイナブルーに変身する 南郷耕作 ダイナイエロー 植物学者でパワーファイターで大食いだ、怪力を生かしたダイナイエローに変身する 立花レイダイナピンクでコミュニケーション研究の専門家でフェンシングを得意とするがネコアレルギーを持っている」

友希那「あらっ、にゃーんちゃんかわいいのに」

ジャッカル「フェンシングを得意とするダイナピンクに変身する戦力はダイナ剣クロスカタター ブルーフリスビー チェーンクラッシャー ローズサーベルそして合体技はスーパーダイナマイト ニュースーパーダイナマイト巨大ロボはダイナロボだ」

リサ「ダイナマンも技が変わるんですね」

ジャッカル「ああ、そしてジャシンカだ、まずは尻尾 9 本の帝王アトン幹部は尻尾 7 本がカー將軍 尻尾 5 本から 4 本から 0 になったメギド王子」

あこ「なぜですか？」

ジャッカル「ああ、それはゼノビアによってすべて切り落とされる、そして幹部のダークナイトそして 4 本尻尾の王女キメラそして 7 本から 10 本になった女將軍ゼノビアだ」

レイヤ「ダークナイトって何者なの？」

ジャッカル「ダークナイトはメギド王子だ」

マスキング「そういえば、10 本尻尾になるとどうなるんですか？」

ジャッカル「10 本尻尾に死ぬ、それはダークナイトもといメギド王子しか知らない」

パレオ「なぜですか？」

ジャッカル「ゼノビアに尻尾を斬られた復讐だ、そして今回の敵は進化獣そしてメカシンカだ、そして戦闘兵はシッポ兵だ」

有咲「そういえば技が変わったんですが、まさか通用しなかったんですか？」

ジャッカル「初登場は、第34話 強敵！メカシンカにてミサイルザリガニにスーパーダイナマイトをも耐えることが可能だ、そして巨大化は細胞が巨大増殖したビッグバンプログレスだ」

彩「そういえばベーター怪人に似てますね巨大化方法が」

ジャッカル「ああ、そうだ、今日はここまでだ」

千聖「なかなか、面白いわね、巨大化方法が違うって」

日菜「そうだね、すごくるんってくる」

スーパー戦隊解説 8

ジャッカル「今回は、これだ、超電子バイオマンだ、あらすじはかつて高度な文明によって栄えたバイオ星は超科学によって生み出した物質活性化をもたらずバイオ粒子をめぐる戦争により滅ぶ、そして500年ドクターマンと名乗る科学者が率いる新帝国ギアが地球侵略を開始する、そしてバイオ粒子を浴びせられた5人の子孫をバイオマンとして選ぶ出す」

あこ「そうなんですか？」

ジャッカル「そして、バイオマンは女性が二人でイエローが途中で交代する」
美咲「そうなのね」

ジャッカル「まずは、郷四朗 日本人初のスペースシャトルのパイロット先祖は武者修行中の侍だ、格闘技を得意とするレッドワンに変身する、高杉真吾 カーレーサー死亡の青年で先祖は猟師スピードと怪力を得意とするグリーンツリーになる、南原竜太漁師の家系で先祖は農民だ、水中戦とするブルースリーに変身」
リサ「なんか見つけるの大変そうだね」

ジャッカル「そうだな、そして小泉ミカ ネイチャーカメラマンでサブリーダー先祖はくノ一だ初代イエローフォーに変身する、そして矢吹ジュン オリンピック候補のアーチェリー選手だ、先祖は不明」

友希那「オリンピック候補に選ばれるなんてさすがね」

ジャッカル「彼女は二代目イエローフォーに変身する、最後は桂木ひかる 女子大生で先祖が公家の娘 敵の力を利用した攻撃が得意なピンクファイブに変身する、共通武器はバイオソードで銃や剣にもなる、巨大ロボはバイオロボだ、必殺技はバイオエレクトロンだ」

つぐみ「なんかすごいね」

ジャッカル「そして新帝国ギアだ、首領はドクターマン、本名は蔭山秀夫という人間だ」

透子「マジかよ、もともと人間だったわけドクターマンって」

ジャッカル「ああ、ロボット工学者だ、そして大幹部のビッグスリー、まずは、リーダー格のメイスン そしてファラそしてパワーのモンスターさらにジュノイド5 獣士、メッサージュウ サイゴーン ジュウオウ メッツラー アクアイ

ガーだ」

リサ「あれっ、怪人粹は？」

ジャッカル「ああ、普通の一般怪人は出ずにメカジャイガンそしてネオメカジャイガンだ、さらに第三勢力としてこいつだ、バイオハンターシルバ」

あこ「かっこいい」

紗夜「バイオハンター、なんか嫌な予感がしますね」

ジャッカル「ああ、こいつは、反バイオ同盟が作った殺人口ロボットだ」

りみ「なにそれ危険だよ」

香澄「そういえばなんでイエローフォーは交代したんですか？」

ジャッカル「ああ、中の人が失踪したらしくてな、ちなみに本編ではメイソンの

放ったバイオキラーガンの反バイオ粒子エネルギーを食らい死亡だ」

たえ「バイオキラーガンはさすがにやばいよね」

ジャッカル「ああ、今日はここまでだ」

彩「まさかのイエローフォー役の人が失踪するなんて」

千聖「そうね、有名人がやることではないわ」

スーパー戦隊解説 9

あこ「確か、これで9回目だね、バイオマンの次の戦隊はいつたいなんなのかしら？」

ジャッカル「9回目は電撃戦隊チェンジマン、これは敵のスケールが馬鹿みたいにでかい」

リサ「バカみたいってそこまで大きいんですか？」

ジャッカル「初めに地球防衛を目的とする地球守備隊」

彩「地球守備隊？確か、サンバルカンも」

ジャッカル「サンバルカンは地球平和守備隊だ」

美咲「関連性は？」

ジャッカル「そこまでは不明だ、その日本支部では各部隊から集められた精鋭たちに対し、鬼軍曹と呼ばれる教官 伊吹の激しい訓練が繰り返られていた、しかし、あまりにも過酷な訓練に隊員は次々に脱落する」

有咲「ちょま、そこまで厳しい訓練なのかよ」

ジャッカル「ああ、だが、星王バズーが率いる宇宙帝国大星団ゴズマの地球侵略が始まる、そして戦闘員のヒドラー兵の攻撃によって隊員たちは惨殺される、だが、その時、地球から光が放たれ剣飛竜ら5人に当たる」

香澄「その光って？」

ジャッカル「アースフォースだ」

薫「そのアースフォースって？」

ジャッカル「パワーの源だ、まずは、チェンジマンサイドだ、まずは剣飛竜 元日本支部航空部隊将校だ、ドラゴンの力を宿すチェンジドラゴンに変身する 疾風翔 元日本支部レンジャー部隊でグリフォンの力を宿すチェンジグリフォンだ」

たえ「チェンジマンって色じゃなくて、生物の名前なんだね」

ジャッカル「そうだ、次は、大空勇馬 元日本支部陸上部隊将校 ペガサスの力を宿し高い跳躍力を生かした空中殺法を得意とするチェンジペガサスだ、次は、渚さやか 元日本支部作戦部隊将校だ」

千聖「あらっ、チェンジマーメイドは白なのね、白色は初めてかしら？」

ジャッカル「ああ、そうだ、水中戦を得意とし人魚の力を得意とする、チェンジ

マーメイドに変身、翼麻衣 元日本支部謀報部隊将校 不死鳥の力を宿すチェンジフェニックスに変身する、そしてここで電撃戦隊の指揮官 伊吹長官だ」

マスキング「伊吹長官もか？」

ジャツカル「かれは、電撃戦隊を率いる地球守備隊の指揮官だがその正体はヒース星人ユイ・イブキだ」

七深「彼は宇宙人なんだ」

ジャツカル「ああ、そして装備は変身アイテム チェンジブレスそして銃や剣や盾になるチェンジソードそして必殺武器はパワーバズーカだ、巨大ロボはチェンジロボだ、次は、ゴズマサイド、まずは、星王バズー、こいつは、人型だが本当の正体は惑星型生命体、宇宙の星を食って生きている、それが、ゴズマスターだ」

紗夜「ということは、ボスは惑星だってことですか？」

ジャツカル「ああ、そして、幹部は、ギルーク司令官そして死にかけた宇宙獣士ザドスに乗り移ったのがゴーストギルークそしてリゲルオーラを浴びてパワーアップした姿、スーパーギルークだ」

イヴ「すごいですね、ギルークって」

ジャッカル「そして副官ブーバ、そして副官シーマ、彼女は元アマンガ星、当初は男のような低い声で話すが、これは戦士の状態だ、そして女王アハメス、彼女は、元アマゾ星の女王で三獣士やジャンゲランを従えている、そして宇宙獣士メーズ」
友希那「あらっ、宇宙獣士も？」

ジャッカル「これはアハメスが宇宙獣士となった姿だからな、そして怪人は、さっきから出てきている宇宙獣士だ」

日菜「じゃあ、巨大化するの？」

ジャッカル「ギョダーイとよばれる生物が巨大化させる、そして戦闘兵はヒドラー兵」

パレオ「怖い」

ジャッカル「まあ、そうだろうな、解説はここまでだ」

燐子「なんかヒドラー兵って夢に出てきそう」

ひまり「そうですね」

スーパー戦隊解説10

つぐみ「これで、10回目だね」

モカ「前回のチェンジマンのボスはエモすぎだったね」

蘭「それより10回目の戦隊はなんだろうね」

ジャッカル「今回の戦隊は今までの戦隊とは違う」

あこ「どういうことですか？」

ジャッカル「今回は超新星フラッシュマン、この戦隊は元地球人だ」

紗夜「元地球人？ということは、今は違うんですか？」

ジャッカル「ああ、今は全員フラッシュ星人と呼ばれる宇宙人だ、まあ、この話は、ちょっと、悲しい話だな」

あこ「そうなんですか？」

ジャッカル「ああ、あれは物語開始20年前に改造実験帝国メスによって宇宙に連れ去られた地球人がさらわれる、そしてそのうちの5人が異星人のフラッシュ星人に助けられる、そして20年後、地球に戻ってくる、まずはフラッシュマンから

だ、ジン フラッシュマンのリーダーでプリズムはルビーの力を持つレッドフラッシュに変身する、武器はプリズム聖剣」

あこ「聖剣かっこいい」

ジャッカル「ダイ、岩で覆われたグリーンスターで育ったため、怪力の持ち主プリズムはエメラルドの力を持つグリーンフラッシュに変身する、武器はプリズムカイザー、そして、ブン 砂漠で覆われたブルースターで育てられ30日なら水一杯でプリズムはサファイアの力を持つ、ブルーフラッシュに変身する、武器はプリズムボールだ」

彩「なんかすごいよね、フラッシュ星人って」

ジャッカル「次はサラ 雪と氷の星イエロースターで育てられ寒さにはかなり強い」

花音「いいなあ、私、寒いのが苦手だから」

ジャッカル「トパーズの力を持つイエローフラッシュに変身する、武器はプリズムバトン最後はルー 重力の強いピンクスターで育ったため、重力を遮断能力を持つ、ダイヤモンドの力を持つピンクフラッシュに変身する、武器は重力を操るプリ

ズムブーツだ、そうだな、一応、時村博士についても解説しとくか」

レイヤ「その人、重要なんですか？」

ジャッカル「ああ、彼は、20年前にエイリアンハンターに子供をさらわれ、その時の記憶を失っており、タイムマシンを作り上げることが成功」

マスキング「それって、子供の誰かがフラッシュマンのメンバーってことか」

ジャッカル「ああ、最初は、分からなかったが、サラが自分の娘だと知る、そして英雄タイタンやレー・バラキもいるが割愛しておく、そして共通装備はプリズムフラッシュ、プリズムシューターで、必殺武器はローリングバルカンだ」

あこ「バズーカ砲の武器ってかっこいいね」

ジャッカル「次は、改造実験帝国メスとエイリアンハンターについてだ、まずは、大帝ラー・デウス、そしてザ・デウスーラさらにザ・デーモスと進化していく」
有咲「マジか」

ジャッカル「そして、大博士リー・ケフレン、遺伝子シンセサイザーを使い生命の改造を行いラー・デウスをデウスーラとデーモスにした張本人だ」

たえ「自分のボスですら改造するなんてすごい技術ね」

ジャツカル「だが終盤にてケフレンは、自分が300年前にデウス自らの手術な
どを受け現在の姿になった」

千聖「じゃあケフレンも元人間ってことですか？」

ジャツカル「ああ、そして幹部、レー・ワンダ、こいつは妖獣士ワンダーラにな
りタイムストップ3秒殺しという能力を持っている」

燐子「それって、やばいんじゃない」

ジャツカル「ああ、そして次は、レー・ネフェル、彼女は豹やアルマジロなどの
複数の遺伝子合成している、彼女も妖獣士ネフェルーラに強化変身でき妖獣幻覚で
幻覚世界に引きづりこむ、そして、レー・ガルスあまり解説することがない」

全員「ええええええ」

ジャツカル「次は準幹部だ、まずはウルク、狼の遺伝子から作られた格闘センス
が高いそして上位三幹部のサポートをする、そしてキルト、キルト猫の遺伝子から
作られた敏捷性や瞬発力に優れているが45話 戦士よ地球を去れにてデウス獣戦
士ザ・キルトスに改造されるがローリングバルカンの連続攻撃で倒される」

日菜「必殺武器のローリングバルカンを連続放って倒せないとはやるじゃん」

ジャッカル「そしてエイリアンハンター サー・カウラー、ジン達をさらった張本人だ、そして自分の部下が獣戦士ザ・ギータンに狙われメスを離反する、そしてカウラーの副官ボー・ガルダンだが、あまり長くなるから、省略する」

千聖「そういう理由ならしょうがないわね」

友希那「そういえば獣戦士を巨大化させるのもいるのよね」

ジャッカル「ああ、それがデーモスと融合した、クラーゲンと呼ばれる生物が巨大化させる、そしてフラッシュマンの巨大ロボはフラッシュキングとタイタンボーイそしてグレートタイタンだ」

瑠唯「そういえば、フラッシュマンの最後がどうとかって言ってたわね、どういうことなのかしら？」

ジャッカル「ああ、最後は反フラッシュ現象が進み地球を離れなくなった」

あこ「そういえば、反フラッシュ減少がひどくなるとどうなるんですか？」

ジャッカル「死ぬことになる、ちなみに最終回の辞典でサラが時村博士の娘だということも知っているが最終回には、地球を離れることになる、今日はここまでだ」

美咲「なんかサラがかわいそうね」

こころ「そうね、せっかく自分の親に会えたのにね」

スーパー戦隊解説 11

あこ「これで11回目だね」

巴「次はなんだろうな」

ジャッカル「それは光戦隊マスクマンだ、あらすじとしては地上とは別の世界の地底世界は地底帝国チューブによって統一された、首領ゼーバは次は地上の侵略をもくろむ、そしてタケルの恋人の美緒がチューブの存在を警告したが地割れに飲まれる」

彩「なんでその美緒って人はチューブのことを？」

ジャッカル「本当の名前はイアルでチューブの派遣したスパイだった、マスクマンのメンバーの紹介だ、タケル マスクマンのリーダー格で5人のなかではもっとも強いオーラパワーを持っている、空手とマスキューブレードの剣技で戦うレッドマスクに変身する」

美咲「オーラパワーってアースフォースみたいなものですか？」

ジャッカル「ああ、次はケンタ マスクマンのサブリーダー怪力や体術や古武術

を応用したブラックマスクに変身する、アキラ チーム最年少で中国武術や拳法を得意とする、変身後は中国武術を生かした素早い攻撃や空中攻撃を得意とするブルーマスクに変身する」

「こころ「中国拳法やってみたいわ」

薫「そういえば、この話、まるでロミオとジュリエットだね」

ジャッカル「そして次はハルカ 忍者の宗家の出身で、忍術を使う、イエローマスクに変身する、最後はモモコ 太極拳を得意とするピンクマスクに変身する、共通武器はマスキングブレスそしてレーザーマグナム 個人武器はマスキーブレード マスキーロッド マスキートンファー マスキーヨーヨー マスキーリボンだ」 ひまり「なんか、マスキートンファーかっこいい」

ジャッカル「ちなみに必殺武器はショットボンバーとジェットカノンだ、あつ、あとは巨大ロボはグレートファイブとギャラクシーロボだ、次は地底帝国チューブだな」

つぐみ「そういえばそうだったね」

ジャッカル「まずは帝王ゼーバ、こいつはイガム家から地底世界の王権を奪い恐

怖と暴力で地底世界を征服する、そしてこいつの正体はリサールドグラ―2世だ、そして地底王子イガム」

紗綾「あれっ、この人、美緒って人に似てるんだけど」

ジャツカル「ああ、こいつは、イアル姫の双子の兄だ、あつても、姉って言った方がいいな」

有咲「女だったんですか？」

ジャツカル「そうだ、女性では王位を継ぐことができなかったため、男性として育てられていた、そして地底司令バラバ」

彩「あれっ、バラバって超獣」

千聖「彩ちゃんお説教が必要かしら？」

彩「ごめん」

ジャツカル「こいつは、非常に短気な性格でありイガムを家柄ばかりの地底貴族と蔑む、ちなみにこいつはガマロドグラ―を使いケンタ以外の4人からオーラパワーを奪い変身不可能にさせた、次は地底忍フーミン」

イヴ「まさか、敵にも忍者がいたとは思ってなかったです」

ジャツカル「フーミンはイガム家に代々仕えるフー族の子孫で同じ忍術使いであるイエローマスクやオヨブーとはライバル関係にある、そして地底忍オヨブー、彼は炎を操るブヨン族の忍びで第12話 挑戦 忍びの誇りにて仲間のフーミンをだますということも出来る」

蘭「仲間もだますってすごいじゃん」

ジャツカル「そして地底地奇獣アナグマス、こいつは、妖術を使うことができる、そしてグレートファイブを戦闘不能に追い込む」

透子「マジ、こいつやばいじゃん」

ジャツカル「そしてエネルギー獣オケランパ、こいつは、地底獣を巨大化させることができる、そして盗賊騎士キロスだ、そして怪人は地底獣で戦闘員はアングラー兵だ」

燐子「あの途中で必殺武器が変わったようですけど、なんでですか？」

ジャツカル「ああ、それはなキロスのクッレセントスクリューに押されてベームドグラーも加わり炎のクレセントスクリューでオーバーヒートを起こして大破したからな、今日はここまでだ」

あこ「マスクマンかっこいい」

ジャッカル「分かってるな、あこ、俺の好きな戦隊だからな」

あこ「分かります」

スーパー戦隊解説 12

ジャッカル「よっしゃ、これで12だ、その前に、一つマスクマンの回でやり忘れたのがあったから、ここでやっておくが飛鳥リョオ、彼はマスクマン第1号X1マスクに変身する」

日菜「なんでやらなかったんですか？」

ジャッカル「単純に忘れてた、そして、今回は超獣戦隊ライブマン、これも悲しい話だ」

彩「そうなんですか？」

ジャッカル「ああ、科学者育成学校科学アカデミア、その中の生徒 雨宮勇介

大原丈 岬めぐみ 矢野卓二 相川麻里の5人は遅くまで実験を行っていたが、同じ学友の月形検史 仙田ルイ 尾村豪が謎の宇宙船に乗り込もうとする」

こころ「何かあったのかしら？」

ジャッカル「だが見られた剣史は卓二と麻里をレーザー銃で殺害」

千聖「それって友達を殺害したってこと？」

ジャッカル「ああ、そして、その2年後、悲願だったスペースアカデミア号の打ち上げの日、突然、謎の宇宙船が攻撃してくる」

つくし「誰なの、こんな日に攻撃してくるのは」

ジャッカル「そして、現れたのはドクターケンプ　ドクターマゼンダ　ドクター

オブラーが現れる」

ましろ「・・・」

香澄「どうしたの？」

ましろ「この3人裏切った三人に似てる気が」

ジャッカル「よく気付いたな、ケンプ　マゼンダ　オブラーは裏切った3人だ」

透子「ちょっと待って、それって友達と戦うってこと？」

ジャッカル「ああ、ここでライブマンのメンバーに行くぜ、雨宮勇介　ライブマンのリーダー格でハサブサの能力を持つレッドファルコンに変身する、そして武器はファルコンソードだ、次は大原丈　科学アカデミア時代に勇介とビリ争いを競っていた」

彩「ビリ争いって・・・」

ジャッカル「ライオンの能力を持つイエローライオンで武器はライオンバズーカだ、岬めぐみ ライブマンの紅一点でイルカの力を持つブルードルフィンに変身武器はドルフィンアロー」

千聖「あらっ、ライブマンも三人なのね」

ジャッカル「いや、のちに二人出てくる、矢野鉄也 特技はボクシングでブラックバイソンに変身する武器は、バイソンロッドだ、そして相川純一 都立南高校のラグビー部に所属しておりフォワードを務める、サイの力を持つグリーンサイで武器はサイカッターだ」

紗夜「相川に矢野どこかで」

友希那「多分、相川麻里と矢野卓二の身内じゃないかしら」

ジャッカル「そうだ、共通装備はツインブレスそして必殺武器はバイモーションバスター 巨大ロボはライブロボ スーパーライブロボそしてライブボクサーだ、次は武装頭脳軍ボルトだ」

隣子「何が目的なんですか？」

ジャッカル「世界は優秀な天才が支配すると考えている、まずは、大教授ビース

ボルトのボスそして48話 最終話では12人の千点頭脳により若返り少年王ビースとなっていく、そして、ドクターケンプ」

美咲「確か、月形って人だよな」

ジャッカル「ああ、こいつは、異常なプライドとエリート意識が高く自惚れする悪癖し次第に他人を見下すようになる、そして強さと美しさを兼ね備えた美獣ケンプだ」

瑠唯「強さはともかく、美しさのかけらもないわね」

ジャッカル「そして第37話 16オケンプ凶獣変身から凶獣ケンプになる、そしてドクターマゼンタ、人間のころから月形と同じでプライドが高い上、自分より能力が劣る者を見下す性格だったがボルトに入ってからには愚かな人間のことは考える必要なしということもあった」

マスキング「マジかよ、完全に人間の心を捨ててるじゃねえか」

ジャッカル「そしてマシンマゼンタとなり47話で頭脳までも機械化したロボマゼンタになる、そしてドクターオブラー 元々は心優しい青年だったが貧弱な身体にコンプレックスを持つ」

レイヤ「コンプレックスは誰にもあるのにね」

ジャッカル「だけど、第19話　がり勉坊やオブラーにて生まれつきの天才ではなく秀才で勉強を強要されており、みんなと遊びたいという気持ちがあるベシキョウゾノの行動で心底が明らかになる、そして唯一、人間に戻った幹部だ」
蘭「よかった元の人間に戻って」

ジャッカル「そしてドクターアシュラ、こいつは、ニューマフィアのボス毒島嵐が生体改造した姿だが、ビースに利用されたことを知るとバトルゾノにダイナマイトで特攻して自爆した」

つぐみ「うわあ、なんかかわいそう」

ジャッカル「ブッチーとギルドスは省く、次はガードノイドガッシュだ、こいつはビースのボディーガードとして製作されゾノ獣を生み出したり巨大化させることが可能だ、そして怪人が頭脳獣で戦闘員はジンマーだ、今日はここまでだ、次は平成最初の戦隊だな」

彩「うー、こういうのに弱いよ、私」

千聖「友達と戦い倒す、こんな悲しい運命はないわね」

スーパー戦隊解説13

ジャッカル「今回から平成の戦隊に入るぜ」

千聖「そう言えばそうだったわね、平成最初の戦隊って何かしら？」

ジャッカル「ああ、その戦隊は高速戦隊ターボレンジャー」

友希那「ターボレンジャー？車かしら？」

ジャッカル「よくわかったな、彼らは、初の車の戦隊だ、あらすじは今からさかのぼること2年前世界に暴魔百族と人間が存在していた、そして、人間は妖精と協力し暴魔百族を封印することに成功する？そして2万年後、妖精は人間に忘れられた、そして妖精族のシーロンは妖精は都立武蔵野高等学校の3年A組の5人に未来を託すことにした」

リサ「ターボレンジャーって全員高校生なんですな」

ジャッカル「そうだ、まずは炎力 ターボレンジャーのリーダーで野球部のキャプテンにし4番でキャッチャーだ、優れたバランスを持つレッドターボに変身する武器はGTソード 山形大地 ターボレンジャーの参謀格で陸上部に所属しパ

ワーアクションを得意とするブラックターボに変身する武器はTハンマーそして次は浜洋平ターボレンジャーのムードメーカーで水泳部で射撃を得意とするブルーターボに変身し武器はJガンだ」

あこ「剣にハンマー、そして銃、かっこいい」

ジャッカル「そして日野俊介 体操部に所属しており体操を生かしアクロバディックを生かしたイエローターボに変身し、武器はBボーガン」

蘭「ボーガンを武器にする戦隊って初めてね」

ジャッカル「そして最後は森川はるな 生徒会長を務める秀才でありバトン部に所属する、スピーディーなアクションを得意とするピンクターボに変身する、武器はWステッキそして、必殺武器は、後半から出てきたVターボバズーカだ、巨大ロボはターボロボとスーパーターボロボ スーパーターボビルダーだ」

瑠唯「次は暴魔百族ね」

ジャッカル「ああ、まずは暴魔大帝ラゴーン、暴魔百族を束ねる暴魔城の支配者、触手からは、暴魔再生巨大化光線を放つ」

ましろ「珍しいですね、首領が巨大化させるって」

ジャッカル「そしてラゴーンは一度敗れたことによりネオラゴーンになる、そして暴魔博士レーダ、暴魔のナンバー2の大幹部だ、ちなみにこいつもラゴーンと同じで巨大化させることができる」

美咲「あらっ、大幹部も巨大化させることのようなね」

ジャッカル「そして、姫暴魔ジャーミン、こいつは、蛇の化身だ、そしてこいつも巨大化再生光線を放つ」

ひまり「あれっ、ジャーミンも？ということは、残りの暴魔の幹部も？」

ジャッカル「ああ、そうだ、そして暗闇暴魔ジンバ、鎧武者の風貌をした幹部で力とライバル関係にある、こいつは、口から暴魔再生光線を放つ、そしてかっつび暴魔ズルテン、他の幹部よりは格下だが目くらましなどでもできる、ほら貝から、巨大化再生光線を放つ」

つぐみ「見た目によらないわね」

ジャッカル「そして怪人は暴魔獣で戦闘員はウーラー兵だ」

彩「うー、高校生で命を懸けるなんて」

つくし「そういえば、後半から必殺武器が出てきたって言ってましたけど破壊さ

れたんですか？」

ジャッカル「いや、ヤミマルにプラズマシュートが破られたために新たな武器として登場した、そうだ、ヤミマルとキリカは流れ暴魔と呼ばれる」

隣子「流れ暴魔？」

ジャッカル「簡単に言えば人間と暴魔のハーフだ、今日は、ここまでだ」

花音「暴魔と人間のハーフって」

たえ「なんか、怖い」

スーパー戦隊解説14

ジャッカル「よっしゃ、次は、地球戦隊ファイブマンだ、ファイブマンは全員、兄弟かつ教師だ」

彩「生徒の次は教師、なかなかおもしろそう」

ジャッカル「あらすじは、宇宙航行が可能となった時代、28年前の1970年、生命が死に絶えた星に緑を蘇生させる研究を行っていた星川博士は、家族で地球を離れ惑星シドンで現星人とともに植樹作業をやっていたが、成功だと思われたがエイリアン軍団、銀帝軍ゾーンの襲撃を受け離れ離れになる、そして、20年後、両親と別れた兄弟は同じ小学校の教師になっていた、そして、ゾーンは1000個目の惑星として地球侵略を開始する」

りみ「1000個目ってかなりすごい組織なんじゃ」

ジャッカル「そして、ファイブマンのメンバーだ、星川学 ファイブマンのリーダーで長男で宇宙科学が得意な理科教師だ、原子運動を象ったファイブレッドに変身する」

友希那「宇宙科学ってなんなのかしら？」

ジャッカル「星川健　星川兄弟の次男で体育教師スポーツ万能で水泳と柔道が得意、運動をしている人間を象っているファイブブルーに変身する、星川文矢　星川兄弟の三男で次女のレミとは双子で国語教師で漢字の語を象ったファイブブラックに変身する」

レイヤ「そのファイブブラックのエンブレムの効果って？」

ジャッカル「簡単に言えばスーパーコンピューターで地球の言葉から宇宙の言葉まで分析できる、そして星川数美　星川兄弟の長女で、算数教師だ、加減乗除の計算法を象ったファイブピンクに変身する、最後に星川レミ」

美咲「確かファイブブラックの双子の」

ジャッカル「そうだ、星川兄弟の次女で絶対音感を持っている音楽教師だ、八分音符を象ったファイブイエローに変身する」

イヴ「絶対音感で音楽教師って、無敵じゃないですか？」

ジャッカル「そして、共通装備は、男性陣がVチェンジャーブレス女性陣がVチェンジャーコンパクトだ、そして強化アイテムファイブテクター、必殺武器は

アースカノンとスーパーファイブボールだ、そして次は銀帝軍ゾーンだ」

あこ「確か999個の星を滅ぼしたっていう」

ジャッカル「まずは、銀河皇帝メドー、こいつは、ゾーンの支配者の女性だが、その正体はストーカー戦艦もといバルガイヤーがゾーンの手先として利用するために王女メドーの顔を似せて作った、そして銀河超獣バルガイヤー、ゾーンの真の支配者だ」

全員「・・・」

ジャッカル「どうした？」

マスキング「ストーカー戦艦ってどういう意味だ？」

ジャッカル「ああ、そのこと？簡単に言えば、バルガイヤーが王女メドーのこを好きになる、彼女はバルガイヤーの求愛を拒むが、バルガイヤーがしつこく追いかけてきて逃げてるうちに崖から転落してしまい死亡させる」

千聖「戦艦が人間を好きになっちゃってしまふとはね」

有咲「だけど、嫌われたのに追いかけるのはマジのストーカーですよ」

ジャッカル「話は戻す次はバルガイヤーの二代目艦長ガロアだ、こいつは、ゾー

ンの大幹部だが完全なギャグキャラに落ちた」

レイヤ「ギャグキャラって」

ジャッカル「こいつは、シドン襲撃時に学に顔を傷つけられたことによってライバル心を抱く、そしてこいつは、部下の失敗を身を挺してかばうなどの威厳を見せる」

こころ「ここまで聞くと、ギャグキャラには思えないわね」

ジャッカル「だがこいつは毛虫が苦手でさかさまデーやシュバリエの登場に立場が危うくなりメドーに見限られ掃除係に降格させられる」

日菜「あはははははは、ガロア面白い」

あこ「そういえばさかさまデーって？」

ジャッカル「戦闘員と幹部の立場が逆になることだ、そして銀河剣士ビリオン、戦いと無上の喜びとする剣士でレイピアを武器とする、そして銀河博士ドルドラ、冷徹なゾーンの女科学者で作戦参謀的な存在だが戦闘能力も高い」

彩「ゾーンやばいよ」

ジャッカル「そして銀河の牙ザザ、彼女は死にかけていたところをドルドラの生

態改造によって命を救われた、そして銀河商人ドンゴロス、こいつは商人なため戦闘能力は高くない、そして初代艦長シュバリエだ」

友希那「確か、ガロアの立場を危うくしたっていう」

ジャツカル「ああ、こいつは、引退し悠々自適の生活を送っていたが生活に飽きたのとガロアが地球侵略を手間取っててることを知り戻ってくる、そして、銀河戦隊ギンガマン、5人のエイリアンで構成される悪の戦隊だ」

燐子「ということはライダーでいえばネガ電王やダークカブトみたいなポジションなんですね」

ジャツカル「ああ、そうだ、そして怪人は銀河闘士と合体銀河闘士だ」

あこ「合体銀河闘士？」

ジャツカル「簡単に言えばゲルショッカーの怪人と思えばいい、戦闘兵はバトル兵だ、あとファイブマンのロボはファイブロボとスーパーファイブロボそしてスターファイブだ」

花音「そういえば巨大化方法ってあるんですか？」

ジャツカル「ああ、巨大化獣ゴルリンと呼ばれるもので今までとは違うのが銀河

闘士が完全に息絶える前に吸収しなければ巨大化できない」

リサ「確かに今までは倒されてから、巨大化してましたね」

ジャッカル「今日はここまでだ」

日菜「ガロア艦長面白い」

透子「これ絶対SNSに載せたら人気出るって」

スーパー戦隊解説15

ジャッカル「ついに15回目、今回はあの戦隊を見ていくぜ」

こころ「スーパー戦隊15作品目ってなんなのかしら？」

ジャッカル「戦うトレンディードラマこと鳥人戦隊ジェットマンだ」

彩「トレンディードラマってことは恋愛系ですか？」

ジャッカル「そういうことだ、まずは、西暦199X年、世界中を監視するアーシップを有す世界規模の防衛組織地球防衛軍スカイフォースによって平和が守られていた、そしてその組織ではバードニウムと呼ばれるものを開発していた新エネルギー、バードニックウェーブが開発されJプロジェクトが開発されていたが突然、次元戦団バイラムの襲撃を受ける」

あこ「バイラム？」

ジャッカル「こいつらはさまざまな次元の世界を侵略してきた組織だ、だが、そこで竜の恋人リエが死んでしまう、そしてバイラムの襲撃がバードニックウェーブを地球に降り注ぎ一般人が浴びる」

美咲「そのバードニックウェーブって大丈夫なの？」

ジャッカル「ああ、超人的な力を身に着けるだけだ、まずは、ジェットマンのメンバーでまずは天堂竜、ジェットマンのリーダーでスカイフォースの青年で最初に言った通り恋人のリエをなくしている、鷹の力を持つレッドホークに変身する、そして次は結城凱　ギャンブルやサックス演奏で生計を立てている青年でコンドルの力を持つブラックコンドルに変身する」

つくし「鷹はともかくコンドルって敵のイメージがあるんですが」

ジャッカル「それは、人それぞれだな、次は、大石雷太　農業の青年で最初はジェットマンへの誘いを暴力は嫌いだという理由で断るがバイラムのより畑を現れたことにより仲間になる、フクロウの力を持つイエローオウルに変身する」

ましろ「確かに暴力が嫌いて理由なら断ってもしようがないよね」

ジャッカル「そして早坂アコ、三原北高校の3年でジェットマンにはバイト感覚で加わるが香が渡した小切手の超高額の報酬でショックが大きくなりツバメの力を持つブルースワローに変身する」

美咲「ちょっと待って、超高額っていくらなの？」

ジャッカル「それは言えん、最後に鹿鳴館香 名門鹿鳴館財閥の深窓の令嬢だ、簡単に言えばこころみたいな立場だな」

美咲「うわあ、めんどくさくなりそう」

ジャッカル「彼女は偶然バードニックウェーブを浴びたことを契機にジェットマンに加入する、白鳥の力を持つホワイトスワンに変身する、ちなみに竜と香が両想い 雷太と凱が香に対し、片思いつて感じた」

香澄「でも竜さんにはリエさんが」

有咲「でも、バイラムの襲撃により死んだんだよね」

ジャッカル「だと思ったよね、バイラムの前にその前にこいつらだネオジェットマン、こいつらはサイボーグ戦士だ、そして裏次元ディメンシアの戦士もいるがここでは詳しくはやらない、必殺武器は、ジェットストライカーと呼ばれるバギーが変形するファイヤーバズーカだ、巨大ロボは、ジェットイカロスとジェットガルーダそしてグレートイカロス、テトラボーイだ」

たえ「ジェットマンには4体もロボットも出てくるのね」

ジャッカル「そして、次はバイラムについてだ、まずは裏次元伯爵ラディゲだ、

残忍かつ冷酷な野心家で異常なまでに執念深い、そしてラディゲの真の姿ラディガンだ、そしてマリア、彼女は、元スカイフォースの一員で死んだと思った竜の恋人リエだ」

千聖「あれっ、リエさんは生きてたの？」

ジャッカル「ああ、生きてた、ただし敵として、そしてロボット幹部のグレイ、こいつは、酒とたばこあとは、クラシック音楽を好んでいる」

ロック「ロボットなのにお酒大丈夫なのかな？」

ジャッカル「ちなみにこいつはマリアに恋心を持つようになる」

千聖「これサスペンスなら、間違いなく泥沼化して殺人が起こるパターンね」

ジャッカル「そして、少年幹部のトラン、ゲーム感覚で作戦を立て味方の犠牲などですらゲームを楽しむための要素としか思っていない」

日菜「このちびっこ、るんってこない」

ジャッカル「そして敵味方問わずに子供扱いされたため、トランザへと変貌するそして、バイラムの首領のはずの女帝ジューザ、こいつは17話 18話にて登場、魔獣ジューザに変身も可能だが最後はラディゲに倒される」

はぐみ「まさかの裏切り」

ジャッカル「そして怪人は、次元獣、バイオ次元獣そして次元虫、戦闘員はグリナム兵だ、巨大化方法は次元虫だ、ちなみに後日談もある」

透子「マジで？」

ジャッカル「ああ、まずは、雷太は幼馴染とそして竜と香が結ばれる、あこはアイドルに」

つぐみ「あれっ凱さんは？」

ジャッカル「ああ、式場に向かう途中ひったくり犯と遭遇、そして刺されて、式場で息絶える」

蘭「せっかくのおめでたい日なのに」

モカ「さすがに許せませんなあ」

ジャッカル「今日は、ここまでだ」

巴「さすがにこれ子供向けにはきついんじゃないかねえか」

あこ「まったく理解が追いつかなかったよ」

スーパー戦隊解説16

ジャッカル「今回は、初の恐竜の戦隊だ、その名も恐竜戦隊ジュウレンジャーだ」
あこ「恐竜!!」

ジャッカル「ああ、かつて地上は、恐竜から進化した人間妖精族がともに暮らしていた、しかし1億7千年前、恐竜部族の長の一人が悪魔と契約し人類滅亡を画策5大部族たちは守護獣とともに魔女バンドーラとともに戦い封印するが現代に封印が説かれてしまう」

千聖「うわっ、封印が解けたのね」

ジャッカル「そしてジュウレンジャーだ、ゲキ ヤマト族のプリンスでジュウレンジャーのリーダー、ティラノサウルスを守護獣に持つティラノレンジャーだ、そしてさらにアームドティラノレンジャーに変身する ゴウシ シャーマ族のナイト 最年長で参謀格だ、メンバーで唯一古代文字が読める、マンモスを守護獣を持つ、マンモスレンジャーに変身する ダン エトフ族のナイト 明るく短気だがムードメーカーの一面を持つ、トリケラトプスを守護獣に持つトリケラレンジャーに変身

する」

彩「ティラノサウルスにマンモスにトリケラトプス」

ジャッカル「ボーイ　ダイム族のナイトで、メンバーの中の最年少で忍術まがいの動きも身に着ける、守護獣サーベルタイガーの戦士タイガーレンジャーに変身メイ　リシヤ族のプリンセスで伝説の英雄リシアンテウスの血を受け継ぐプテラノドンを守護獣に持つプテラレンジャーに変身する、そしてブライ　ゲキの実の兄でありヤマト族のナイトの息子だが劇中ではプリンスと名乗っているドラゴンシーザーを守護獣に持つドラゴンレンジャーに変身する」

瑠唯「マンモスにサーベルタイガーにドラゴンって恐竜ではないわね」

ジャッカル「必殺武器はハウリングキャノン、巨大ロボは大獣神　剛龍神　獣帝大獣神　究極大獣神だ」

彩「すぐ出てくるのね」

ジャッカル「次はバンドーラ一味だ、魔女バンドーラ、大サタンに魂を売った魔女で悪霊の負のエネルギーによってドーラモンスターを巨大化させる」

つぐみ「この人、ヘドリアン女王？」

ジャッカル「役者は同じだ、次はトットパット、バンドーラに使える吸血コウモリのモンスターだが、血を吸ったことはない、そしてブックパック、バンドーラに仕える小鬼のモンスターで戦闘力は低い、そしてグリフォォザー」

あこ「うわっ、かっこいい」

ジャッカル「こいつはグリフォンの血を引く戦士だ、そしてその嫁のラミイ、彼女はグリフォォザーとともに戦闘要員で秘密捜査官も務める、そしてプリプリカ、種族はレブラカーンでドーラモンスターを粘土で製造をしている」

つくし「ドーラモンスターって粘土で作られてるのね」

ジャッカル「そして、怪人はドーラモンスターで戦闘員はゴーレム兵だそして、悪の根源、大サタンだ、最後はドーラタロスとともに爆散した、そしてバンドーラの息子カイだ、今日はここまでだ、ちなみに最後バンドーラ達は封印された」

ジャッカル「ああ」

モカ「相変わらずエモいですな」

スーパー戦隊解説17

ジャッカル「次は、この戦隊だ、五星戦隊ダイレンジャーだ、今から8000年前の紀元前6000年ごろ、中国南部にダオス帝国が誕生し、妖力を使うゴーマ族と気功術を身に着けたダイ族が能力を持たないシュラ族を奴隷のように支配していたが、ゴーマは帝国を自分らの支配下に置こうとダイ族に攻撃を仕掛けるが最後はシュラ族によって新たな文明が築かれたはずだった」

彩「どういうことですか？」

ジャッカル「だが現代にゴーマが復活するとダイ族の生き残り道士・嘉翔の導きにより若者らは転身する、そして、ダイレンジャーのメンバーだ亮 中華料理店で働く見習いコックの見習いで紐男爵に襲われてたところに龍星王に救われ嘉翔にスカウトされる、炎と雷の気力を操るリュウレンジャーに転身する」

美咲「となるとダイレンジャーは拳法を？」

ジャッカル「ああ、大五 ペットショップで働いてる青年で幻を操るシシレンジャーに転身する、そして将児 世界チャンピオンを夢見る駆け出しのボクサーで

パチンコが趣味 重力の気力を操る テンマレンジャーに転身する」

あこ「重力を操るってかっこいい」

ジャッカル「知 天才的な腕前を持つ美容師でヘアサロンを勤務 時間を操るキリン

レンジャーに転身する」

紗夜「時間を操るって敵がやりそうな能力なんですが」

ジャッカル「確かなな、そしてリン 中国から日本に來た留学生で嘉翔の姪で風を操る気力を使うホウオウレンジャーに転身する、コウ 小学生で音をあやつるキバレンジャーに転身する」

彩「小学生が転身するの？」

ジャッカル「ああ、必殺武器は気力ボンバー、巨大ロボは龍星王 大連王 牙大王 重甲氣殿だ、あとはウォンタイガーにダイムゲンだ、そしてゴーマ側だ」

蘭「進むごとに出てくるロボットも増えてくわね」

ジャッカル「ゴーマ15世、6000年前からゴーマの全権を握るゴーマの支配者そしてシャダム中佐、3幹部のリーダー格を務めパワーアップもする、そして

ガラ中佐、風を操ることが出来る幹部で、巨大化爆弾が複数入ったトランクを持ち歩きゴーマ怪人を召喚する、そしてザイドス少佐、雷を操るゴーマの幹部だがこの幹部らは泥人形だということが判明する」

ましろ「泥人形ってことは誰かが作ったってこと？」

ジャッカル「ああ、そうだ、そして阿古丸、シャダムの息子であるが両親の愛がなかったために捻くれた性格になった、そして道士 嘉翔」

透子「嘉翔ってダイ族じゃ」

ジャッカル「ああ、彼はゴーマ側だったんだ、そして怪人はゴーマ怪人で戦闘員はコトポトロ、ほかにゴーマ3ちゃんズや地獄の三人官女あとはゴーマ四天王もいる」

あこ「四天王って強そう」

ジャッカル「ああ、強い、あとは、張梁、彼はゴーマ側だが実は死んだと思った亮の父親だった、あとは魔拳士ジンもだな、今日はここまでだ」

蘭「まさかの嘉翔がゴーマ側だったとは」

ひまり「そうだね」

スーパー戦隊解説18

ジャッカル「今回は、初のメンバー全員が忍びの戦隊だ」

彩「マスクマンやダイナマンのように一人だけじゃなくて」

ジャッカル「ああ、今回は忍者戦隊カクレンジャーだ」

イヴ「まさかの忍者戦隊ですか」

ジャッカル「あらすじは戦国時代、時の忍者達は人間世界を征服せんとする妖怪たちと長き戦いが行われていたが鶴姫を筆頭とする5人の隠流忍者が伝説の三神将より与えられた封印の扉に総大将ヌラリヒョンと大量の妖怪エネルギーを封印する」

七深「妖怪が敵とは、ホラー研究会の血が騒ぎますなあ」

りみ「そうだね」

ジャッカル「そして400年が過ぎ一般人として過ごしていた猿飛佐助の子孫サスケと霧隠才蔵の子孫サイゾウはカップに騙され封印を解いてしまう」

あこ「でも私たちの知ってるカップとは違うね」

ジャッカル「カクレンジャーのメンバーだ、サスケ、猿飛佐助の子孫でカクレンジャーのサブリーダーでニンジャレッドに変身する」

千聖「レッドがリーダーじゃないのね、てっきりレッドがリーダーだと思ったんですけど」

ジャッカル「始めは俺も同じことを思っていた、次は鶴姫、鶴姫家の24代目統領にしてカクレンジャーのリーダー、鶴のような華麗な忍術を使うニンジャホワイトに変身する」

ましろ「あれっ、白がリーダーって珍しいですね」

ジャッカル「ああ、次はセイカイ、三好青海入道の子孫で熊のような怪力を持つニンジャイエローに変身する、次はサイゾウ」

つぐみ「確か、カップパに騙され妖怪の扉を開けてしまったっていう」

ジャッカル「こいつはときどき不幸な目にあっている」

隣子「そうなんですか？」

ジャッカル「まずは、財布がなくなる、アミキリに買ったばかりの新車を斬られ

る、ヌッペフモフに顔を奪われるといったことだな」

美咲「うわあ、そこまで不幸なことに」

ジャッカル「狼のような素早い動きでほんろうする、ニンジャブルーに変身する、最後はジライヤ 彼は児雷也の子孫で家電の巻物を奪ったアズキアライを追ってアメリカからやってきた、蛙のジャンプ力を持つニンジャブラックに変身する」

つくし「蛙がモチーフってめずらしいですね」

ジャッカル「ああ、そして6人目の戦士、ニンジャマンだ、こいつは、三神将の弟子で妖怪大魔王によって騙され封印の壺に封じられていた、そして青二才といわれると巨大化し、サムライマンに変身する、必殺武器は、必殺技は、カクレンジャーボールだ」

透子「カクレンジャーボール？ボールの爆弾ってことですか？」

ジャッカル「ああ、そうだ、ちなみに巨大ロボは、バトルサルダー バトルカー
ク バトルクマード バトルロウガン バトルガンマーそしてゴッドサルダー
ゴッドカーク ゴッドクマード ゴッドロウガン ゴッドガンマー 無敵將軍 ツ
バサマル 隠大將軍 スーパー無敵將軍 スーパー隠大將軍だ」

あこ「結構出てくるんですね」

ジャッカル「そして次は、敵である妖怪軍団」

たえ「そのまま」

ジャッカル「まずは、妖怪大魔王、こいつは、妖怪軍団の首領だ、そして貴公子ジュニア、彼は、大魔王の実子でその正体はガシャドクロだ、そして白面郎、こいつは大魔王の軍師だがその正体は死んだと思われた鶴姫の父親 義輝だ」

友希那「確か、ダイレンジャーにも親子対決あったわね」

ジャッカル「ああ、そしてユガミ博士、こいつはテングに付き従っていたがテングの敗北後は貴公子ジュニアに従っていた、そして1度だけ、バズーカ砲を使って、ニンジャレッドを吹き飛ばしている」

リサ「うわっ、結構強いじゃん」

ジャッカル「そして、花のくのいち組アヤメ サクラ スイレン ユリ ランの5人でスパイ活動や戦闘までこなすが、最後は、元の猫に戻された」

友希那「にゃーんちゃん」

ジャッカル「そしてヌラリヒョン、先代のカクレンジャーに封印された妖怪だ、

そして怪人は妖怪だ、戦闘員はドロドロだ、今日はここまでだ」

はぐみ「あれっ、ムンクの叫びに似てる」

モカ「確かに、そうだね」

スーパー戦隊解説19

ジャッカル「よっしゃ、今回は、19回目だ」

彩「19作目の戦隊ってなんだろう」

ジャッカル「それは超力戦隊オーレンジャーだ、あらすじは、6億年前に存在した超古代文明、その副産物である機械生命体が突如反乱し暴動が鎮圧されて幾壮年。西暦1999年、月面に拠点を置くマシン帝国バラノニアは地球支配を果たすべく再び人類に宣戦布告を行う」

あこ「そういえば、そんな映画あったよね、機械が反乱を起こし攻めてくるって」
ジャッカル「まずは、オーレンジャーのメンバーだ、星野吾郎、冷静な判断力と推理力にたけた超力戦隊の隊長で階級は大尉」

彩「階級？」

ジャッカル「ああ、そうだってなかったなUAOHという軍隊に所属している」
日菜「そういえば軍隊の戦隊ってチェンジマンもそうだったよね」

ジャッカル「ああ、剣撃を得意とする、オーレッドに変身する、四日市昌平 超

力戦隊の副隊長で階級は中尉だ、入隊前はボクサーだ、変身後はボクシングを生かした攻撃を得意とするオーグリーンに変身する、三田裕司 フェンシングや器械体操が得意で階級は中尉、変身後は空中殺法を得意とする、オーブルーに変身する」千聖「なんか、結構すごい立場なのね」

ジャッカル「二条樹里、エアロビやダンス全般を得意とする階級は中尉だ、変身後はパワーに優れているオーイエローに変身する、丸尾桃 中国拳法と合気道が得意で階級は中尉で拳法を生かした投げ技や手刀で戦うオーピンクに変身する」

ましろ「そういえば追加戦士はいるんですか？」

ジャッカル「ああ、リキ、6億年前からバツカスフンドを取り逃がし地球を再び襲うことを知っていたためキングピラミッターで眠りについていた戦士だ」

つくし「あれっ、この子は、U A O Hのメンバーではないんですね」

ジャッカル「ああ、キングレンジャーに変身する、そしてさらなる仲間ガンマジン、呪文を唱えると魔人モードになる、必殺武器は、オーレバズーカだ」

瑠唯「今回も巨大ロボも多く出てくるのかしら？」

ジャッカル「ああ、まずは、スカイフェニックス グランタウラス ダッシュレ

オン ドグラランダー モアローダーそしてレッド グリーン ブルー イエロー
ピンクブロッカーそしてオーレンジャーロボ レッドパンチャーバスターオーレン
ジャーロボ キングピラミッター」

紗夜「確か、キングピラミッターって、キングレンジャーが眠っていた」

ジャッカル「ああ、そしてオーブロッカー タックルボーイだ」

日菜「うわあ、すごい出てくる」

ジャッカル「バラノイアについてだ、皇帝バッカスフンド、かつてキングレン
ジャー達に敗北したが、怪人であるマシン獣をこよなく愛している」

レイヤ「自分の仲間を大切にしているっていいよね」

ジャッカル「そして皇妃ヒステリア、バッカスフンドの嫁で前線に立つことはほ
とんどない、そして皇子ブンドルト、バッカスフンドとヒステリアの息子で人間を
オモチャのような遊び道具だと考えている」

有咲「マジかよそれ」

ジャッカル「そして、成長した姿がカイザーブルドントだ、さらにマルチーワ、
ヒステリアの姪で後のカイザーブルドントの嫁だ、ブルドント Jr カイザーブル

ドントとマルチーワの子供だ、そしてアチャとコチャ、コチャの方は倒されたマシン獣を巨大化させる」

蘭「今回は、コチャって奴が巨大化させるんだ」

ジャッカル「そして、ボンバーザグレート、こいつは、宇宙の爆弾野郎、最後は、皇位を追われカイザーブンドルトによって倒される、そして、怪人はマシン獣で戦闘員はバーロ兵だ、戦闘員だがオーレンジャーを苦戦させることもあった、今日はここまでだ」

つぐみ「このバーロ兵って戦闘員すごくない？」

ひまり「そうだよね、オーレンジャーを苦戦させるって」

スーパー戦隊解説 20

はぐみ「今日は、20作目だね、なんだろう」

ジャッカル「今回は、激走戦隊カーレンジャーだ、この戦隊はギャグ路線だ」
彩「そうなんですか？」

ジャッカル「そうだ、宇宙中を暴れまわり、狙った星を超豪華花火にして爆破してしまふ、宇宙暴走族ボーゾックが地球から離れたハザード星に襲来し滅ぼす、脱出に移行したハザード星人の少年 ダップは母親が死の直前に語った星座伝説のカーレンジャーが地球にいと知り向かう、そして、ボーゾックも地球を狙うこととなる」

有咲「ちょま、話がついていけない」

ジャッカル「陣内恭介、ペガサスのテストドライバー担当で給料は税込みで19万3千円」

美咲「給料？」

ジャッカル「なぜか、カーレンジャーは給料が提示されている、カーレンジャー

のリーダーで剣技と体当たりを得意とするレッドレーサーに変身する、土門直樹
ペガススではカーデザイナー担当 給料は21万円で体操戦士のような動きで戦う
ブルーレーサーに変身する、上杉実ペガススの営業担当、給料は17万8千円でサ
ブリーダー、パワーに優れるグリーンレーサーで変身する」

千聖「まさか給料も分かるとはね」

ジャッカル「志乃原菜摘 ペガススではメカニック担当、給料は20万2千円で相
手の弱点を正確に攻撃するイエローレーサーだ、八神洋子 ペガススでは経理担当
給料は20万ちょっとしなやかな動きをするが、怒ると強力なパワーを発揮する
ピンクレーサーに変身する、そしてシグナルマン、こいつは、ポリス星から、やつ
てきた宇宙警察官だ」

友希那「もうこれは、なんとも言えないわね」

ジャッカル「そして必殺武器はギガフォミュラーとギガブースターだ、次は、
宇宙暴走族ボーゾックだ、まずは総長ガイナモ、ボーゾックの総長だったは完全な
ギャグキャラかしていた副長ゼルモダ、ガイナモとは弱小暴走族時代からの仲だ
が、金で裏切るなどの一面もある、次は発明家グラッチ、ボーゾックの発明家だが、

機能よりも趣味とノリでデザインばかり重視するため役に立たない」

瑠唯「ちゃんと性能を重視した方がいいんじゃないかしら」

ジャッカル「こいつは芋長の芋羊羹を買いに行く」

レイヤ「どうして？」

ジャッカル「ボーゾックは芋長の芋羊羹で巨大化する」

有咲「もうツツコミがおいつかねえよ」

ジャッカル「ボーゾックのアイドル ゾンネット、こいつはファンベル星の王女

で家出不良少女だ」

美咲「ええええ」

ジャッカル「そして、リッチハイカー教授、ボーゾックの雇われコンサルタント
そして強化するとリッチリッチハイカー教授へと変わる、そして暴走戦隊ゾクレン
ジャー、ギンガマンに続く悪の戦隊だ、そして戦闘員は兵士ワンパーだ」

あこ「そういえば巨大ロボは？」

ジャッカル「そうだったな、RVロボにVRVロボだ、ちなみに最後は敵も地球
で暮らすことになった、あつ、あと黒幕を忘れてた暴走皇帝エグゾスだ、今日は、

ここまでだ」

つぐみ「まさかの敵も地球で暮らすとは」
ひまり「というか、もうギャグだったよ」

スーパー戦隊解説21

ジャッカル「今回は21回目、その戦隊とは、こいつらだ、電磁戦隊メガレンジャーだ、この戦隊は全員高校生だ」

彩「あらっ、ターボレンジャーと同じなのね」

ジャッカル「そうだ、あらすじは諸星高校の3年 伊達健太は人気のゲームメガレンジャーで遊ぶためにゲームセンターで謎の男たちのスカウトされとある施設INETに連れていかれる、その男らはINETの職員で健太はINETのプロジェクトに選抜された」

レイヤ「すごいね、それ」

ジャッカル「だが、施設デジタルセンターが、邪電王国ネジレシアの襲撃を受ける、そんな混乱の中、偶然、そこに見学に来ていたデジタル研究会の部員 遠藤耕一郎 並木瞬 城ヶ崎千里 今村みくと落ち合ったところにINETの指導研究者久保田博士からデジタイザーを渡されメガレンジャーとなる、そしてメガレンジャーのメンバーだが、すべてメンバー出たんだが簡単に解説したほうがいいか？」

あこ「そうですね」

ジャッカル「そうだな、じゃあ簡単にやってくぞ、まずは、伊達健太 諸星学園
高校の3年A組の生徒でデジ研のメンバーだ、勉強は、苦手だが、ギンガマン
VS メガレンジャーでは、浪人中、そしてのちに教師になっている」

紗夜「ギンガマンって」

ジャッカル「ああ、次の戦隊だ、その時にギンガマンの解説する」

リサ「詳しくは聞かない方がいいかもね」

ジャッカル「スーパードコンピュータの機能がインプットされているメガレッド
に変身する、次は、遠藤耕一郎、メガレンジャーのリーダーで学級委員長だ」

友希那「あらっ、メガレンジャーもレッドがリーダーじゃないのね」

ジャッカル「ああ、デジタル衛星がインプットされている、メガブラックに変身
する、次は並木瞬 デジ研のメンバーでプログラム作成とCG作品に優れた腕前を発
揮するヘルメットにはデジタルテレビの機能がインプットされている、メガブルー
に変身する」

ましろ「そうなんですか？」

ジャッカル「ああ、城ヶ崎千里、メガレンジャーのサブリーダー的存在で、スポーツ主にテニスが得意、ヘルメットにデジタルカメラの機能を持つ、メガイエローに変身する、そして、今村みく、デジ研のマスコットの存在で携帯電話の機能が搭載しているメガピンクに変身する」

つぐみ「そういえば、メガレンジャーって、全部電子機器なんですね」

ジャッカル「そうだ、そして早川裕作、メガレンジャーの6人目の戦士でINT特別開発班チーフだ」

花音「あれっ、最後は高校生じゃないんですね」

ジャッカル「そうだ、ヘルメットにICチップが組み込まれているメガシルバーに変身する、必殺武器というか技はあとで解説する予定だ、巨大ロボはギャラクシーメガ デルタメガ スーパーギャラクシーメガ メガボーイジャー メガウインガー ウイングメガボーイジャーだ」

ひまり「次は、ネジレジアについてだよな」

ジャッカル「そうだ、ネジレジアの首領 邪電王ジャビウス1世、ネジレジアの王で、その正体はジャビウスハートと呼ばれる機械核だ、そしてDrヒネラーこ

いつは、地球攻略軍の地球攻撃総司令で人間を不完全な存在と言っているが、もととは久保田博士の友人 鮫島博士だ」

瑠唯「その鮫島って人も人間を捨てたのかしら？」

ジャッカル「そうだ」

蘭「でもなんで、人間を？」

ジャッカル「彼は、人体実験に失敗し娘の静香を死なせてしまう、そのため世間から殺人科学者だの悪魔の研究だのと非難した」

千聖「それで、人間を」

ジャッカル「そうだ、そしてDrヒネラーの怪人体に変貌する、次は、シボレナ、彼女は、ヒネラーが娘の静香をモチーフにして作り出した、アンドロイドでメガレンジャーの基地に潜入突き止めている」

有咲「マジか、このロボット高性能じゃねえか」

ジャッカル「そして、ユガンデ、ヒネラーが作り出したロボット戦士でユガンデ・リライブ バーニングユガンデ ユガンデ・ストロンクにパワーアップしている、そしてギレール、こいつは、ネジレジア本国から派遣されたジャビウス1世の直

属の部下でギガギレール マッドギレールにパワーアップしている、そしてビビデ
ビ」

紗夜「なにかしら、このボール見たいの？」

ジャツカル「こいつは、ネジレ獣にかみつき巨大化させることが出来る、そして
邪電戦隊ネジレンジャーだ」

日菜「悪の戦隊じゃん、かっこいい」

ジャツカル「そして怪人枠がネジレ獣とサイコネジラーで戦闘員はクネクネだ」
七深「クネクネって、あの都市伝説の？」

ジャツカル「違う、こいつらにはリーダー格のボスクネクネと巨大化するキング
クネクネになる、今日はここまでだ」

モカ「いやあ、悪の戦隊もエモいね」

蘭「そう？」

スーパー戦隊解説22

ジャッカル「今回は、星獣戦隊ギンガマンだ」

紗夜「ギンガマンってファイブマンに出てきたのとは」

ジャッカル「関係はない、始まりは銀河を荒らし星々を食らい尽くす宇宙海賊バルバン、3000年前に地球を襲った彼らは、地球の自然から与えられた星を守る力アースを持つ戦士たちと星獣によって海底に封印されていた」

蘭「封印って時点で嫌な予感が」

ジャッカル「そして選ばれたのは、ヒュウガ ハヤテ ゴウキ ヒカル サヤの5人だったが、ヒュウガは地割れに飲み込まれリョウマに星獣剣を託し落ちてしま
う」

香澄「なんか、かわいそう」

ジャッカル「そして、ギンガマンのメンバーだ、リョウマ炎の戦士でヒュウガの
弟」

つくし「じゃあ、リョウマは、お兄さんを失ったってことですか？」

ジャツカル「ああ、炎のアースを使うギンガレッドに変身する、そしてハヤテ、風の戦士でヒカルとは家が隣同士だ」

友希那「それって、私とりサみたいなものね」

ジャツカル「強力な、風のアースを使う、ギンガグリーンに変身するゴウキ、氣をやさしく力持ちで涙もろい、水のアースを使う、ギンガブルーに変身する、ハヤテ雷の戦士でいたずら好きの食いしん坊だが子ども扱いされるのを嫌う、雷のアースを使うギンガイエローに変身する、サヤ花の戦士で勝気で男勝りの紅一点、風の力を使うギンガピンクに変身する」

あこ「うーん」

巴「どうした？」

あこ「赤がライオン、青がゴリラ 風がファルコン？黄色とピンクはなんなのかなって思ってた」

ジャツカル「緑は竜だぞ、イエローの相棒のギンガベリックはオオカミでピンクの相棒はギンガットはヤマネコだ、そして6人目の戦士 黒騎士」

美咲「なんかかっこいいね」

ジャッカル「黒騎士は最初は変身者は不明でブルブラックとしてギンガマンと敵対していたが、のちに変身者は、死んだはずのヒュウガだ」

彩「生きてたの、よかった無事だったんだ」

ジャッカル「巨大ロボは、相棒がパワーアップした銀星獣ギンガレオン ギンガ
ルコン ギンガリラ ギンガベリック ギンガットそしてギガホイール1〜5ギ
ガウイング1〜5そしてギンガイオー 重騎士 ブルタウラス ギガライノス
ギガフェニックス ギガバイタスだ、必殺武器は獣撃棒あとは、獣装光ギンガマン
にもパワーアップできる」

透子「この星獣たちSNSに上げたいんだけど」

瑠唯「私はだめだと思うわ」

ジャッカル「次は、宇宙海賊バルバンの船長ゼイハブ船長、冷酷で賢く抜け目がない、男だ、操舵士シェリンダ」

たえ「このシェリンダって幹部おっぱいが」

有咲「ちよつ、おたえ、それ以上は言わせないからな」

ジャッカル「シェリンダは、魔獣要塞ダイタニックスの操舵士でありバルバンNO

2だ、そして樽学者ブクラテス、イリエスの叔父だ、黒騎士にゼイハブを倒させバルバンの乗っ取りをたくらむ」

薫「なかなかやるじゃないか」

ジャツカル「そして銃頭サンバツシュ、こいつは荒くれもの揃いのサンバツシュ魔人団のリーダーで1番目の行動隊長だ、剣将ブドー」

イヴ「あれっ、この人は武士のような姿ですね」

ジャツカル「そうだ、ブドー魔人衆の大將で2番目の行動隊長だが、イリエス魔人の一人メドウメドウに無実の罪を着せられるがギンガレッドと一騎打ちで倒される、そして妖帝イリエス、妖術や呪術を操るイリエス魔人族の女族長で3番目の行動隊長だ」

はぐみ「そういえばブクラテスの姪だったよね」

ジャツカル「ああ、性格は高飛車でずる賢くおまけに強欲だが邪帝イリエスに変身する、そして破王バットバス、バットバス魔人部隊の王で4番目の行動隊長でゼイハブの信頼が厚い、そして闇商人ビズネラ、こいつは、宇宙を渡り歩く死の商人だ、そして怪人は各魔人でバルバンエキスを飲んで巨大化する、戦闘はヤートット」

マスキング「そういえば、そのメドウメドウだっけ？ブドーをだましたやつは」
ジャッカル「ああ、メドウメドウがどうした？」

マスキング「最後はどうなったんかなと思ってな」

ジャッカル「ああ、ブドーによって倒された、ちなみにイリエスには、デスフィアスという弟がいるそして、魔獣ダイタニクス」

りみ「確か、ダイタニクスって、バルバンの船だよな」

ジャッカル「ああ、海賊船でもあり巨大獣、そしてダイタニクスが倒されたあの地球魔獣だ、今日はここまでだ」

イヴ「ブドー、仲間に裏切られてもギンガレッドに戦うとはなかなかの武士でした」

麻弥「そうですね」

スーパー戦隊解説23

ジャッカル「今回は、救急戦隊ゴーゴファイブだ」

彩「ゴーゴファイブには、どんな特徴があるのかな？」

ジャッカル「敵も味方も兄弟で家族だ」

あこ「そうなんだ」

ジャッカル「西暦1999年、世紀末の地球に5人の兄妹がいた、5人は火災現場で偶然に遭遇する、そしてある日出勤したところ、なぜか全員退職したことになるって」

つぐみ「なんでですか？」

ジャッカル「それは、8年前に行方不明になっていた父親 巽モンドが勝手に退職届を出したからな、メンバーは巽マトイ、長男で退職前は首都消防局の特殊レスキュー部隊隊長だ、火災耐熱性に優れ一番多く酸素やバッテリーを搭載したゴーレッドに変身する、巽ナガレ、次男でサブリーダー退職前は首都消防局化学班員兼研究スタッフの確な消火活動のための情報がインプットされているゴーブルーに変

身する」

友希那「もしかしてゴーゴーフアイブは、全員が人命にかかわる仕事なのかしら？」

ジャッカル「よく気付いたな、異ショウ三男で首都消防局の航空隊ヘリコプターパイロット空中殺法が得意なゴーグリーンに変身する、異ダイモン四男で首都警察の巡査で警察に届いた新情報がいち早く通達される情報システムが組み込まれているゴーイエローに変身する、異マツリ 長女で国立臨海病院所属の救急救命士手を握るだけで瞬時に体調が診断できるメディカル機能が搭載されている、ゴーピンクに変身する」

リサ「確かにこれなら、偶然遭遇したともいえるわね」

こころ「それにしても父親は勝手に退職届をだすなんてひどいわね」

ジャッカル「そうだな、あと協力者のなかで早瀬京子、彼女は航空学校時代の先輩である宇宙飛行士だ」

あこ「彼女も何かに変身するんですか？」

ジャッカル「本編ではしないが、ゴーゴーフアイブ 激突新たな超戦士にて

ジークジェンヌに変身する、5人の必殺武器はライフバードでブレイカーモードになれば、協力なエネルギー弾を発射する」

瑠唯「鳥のような姿から必殺武器になるなんてすごいわね」

ジャツカル「巨大ロボは、ビクトリーロボ ビクトリーウォーマー グランドライナー ライナーボーイ マックスビクトリーロボ ビクトリーマーズそしてビクトリーマーズのブラックバージョンもある、次の災魔一族だ、まずは大魔女グランディーヌ」

ひまり「魔女ってことは、バンドーラみたいな」

ジャツカル「こいつは、災魔一族の女王だ、まあ子供は親をいつか裏切るものという理由で自分の子供であるコボルダすら捨て駒にする」

マスキング「なんだよそれ、子供ですら、捨て駒にするのかよ、最低な親だな」
ジャツカル「そして災魔四兄弟だ、天の属性のサイマ獣を操る、冥王ジルフィーザだ、最後あたりにジルフィーザーIIになる、獣男爵コボルダ」

つぐみ「確かグランディーヌに捨て駒にされた」

ジャツカル「ああ、地の属性のサイマ獣を操る次男で怪力を誇り頭を使うより力

押しの作戦を好み荒っぽい性格だが家族思いだ」

あこ「敵にしては家族思いっていいよね」

隣子「そうだね」

ジャッカル「そして邪霊姫ディーナス、水のサイマ獣を操る、兄弟の中では参謀に位置する童鬼ドロップ、見た目は赤ん坊だが、火の属性のサイマ獣を操るがのちにサラマンデスに急成長する」

彩「かわりすぎだよ」

ジャッカル「呪士ピエール災魔一族の執事で、錬金術師、主にサイマカードを駆使しサイマ獣の召喚、巨大化カードにてサイマ獣の巨大化できる」

千聖「そういえば、今回の敵はサイマ獣なのね」

ジャッカル「ああ、あとは、冥界魔闘士、剣技のゾード 怪力のグール スピードのジーンに構成する、そして合体獣キマイラーに合体する、戦闘員は使い魔インプスだ、一応、話をずらす記憶に残ってる話の紹介でもしとくか」

リサ「それは、初めてね」

ジャッカル「それは第9話 盗まれた能力だ」

友希那「あらっ、そうなの、でもサブタイトルからやばそうな気が」

ジャッカル「バンパイラは、ディーナスの所持するカードから誕生したサイマ獣
イヴ「そういえばコウモリみたいですわね、やっぱり血を吸ったりするんですか？」

ジャッカル「いや、それはないバンパイラは、片手から発する光線でありとあらゆる能力を吸収することができる、そして、奪われた力は結晶化する」

花音「ありとあらゆるって人間からも」

ジャッカル「そうだ、マツリから能力を奪い取りゴーピンクに着装できなくで
なくしている、しかも飛行能力や突風そして一撃で山をうち崩す破壊光線も打てる」
マスキング「それやばいだろ」

ジャッカル「ああ、しかし、マツリの先輩であり城戸ミズキに結晶を奪われよう
やく倒され巨大化そしてビクトリープロミネンスを倒される、話は戻るが、ギンガ
マンVSゴーゴーフアィブにて真の長男 闇王ギルが現れる、今日はここまでだ」

千聖「まさか五人兄弟だったとはね」

彩「そうだね」

スーパー戦隊解説 24

ジャッカル「西暦3000年の未来人達と一人の男が出会った新しい時を刻むために」

紗夜「どうしたんですか急に？」

ジャッカル「今回解説する、戦隊の始まりのナレーションだ、今回は未来戦隊タイムレンジャーだ」

あこ「タイムレンジャーってどんな戦隊なんだろう」

友希那「でもナレーションの未来人達ってのが気になるわね」

ジャッカル「時は西暦3000年。タイムマシンなどのタイムワープ技術が確立・実用化されたのはわずか10年ほど前であるが、既に宇宙航行と異星の交流への交流は日常化している。その平和な今を守るべく設立されたのは公的機関時間保護局。一つの警報が鳴り響く、それは1000年間の圧縮冷凍形を受ける予定の大量マフィアドン・ドルネロが自身の配下ごと日本に逃亡、時間保護局のレンジャー隊長のリュウヤはユウリら4人の新人レンジャー部隊を西暦2000年の歴史

に送り込む」

友希那「つまりユウリって人達が未来人ってことなのね」

ジャッカル「そうだ、タイムレンジャーのメンバーだ、浅見竜也、現代日本の政財界に強い影響力を持つ企業グループ浅見グループの会長、浅見渡の一人息子、大卒卒業間近にユウリ達と出会う、途中までは唯一の現代人だ、剣と肉弾戦の得意なタイムレッドに変身する」

彩「途中まではってことは、中盤で現代人が変身するんですか？」

ジャッカル「ああ、ユウリ、タイムレンジャーのリーダー格でインターシティ警察マフィア担当秘密警察官だ、空中技を得意とするタイムピンクに変身する」

美咲「ピンクがリーダーって初めてだね、確かホワイトやブラックがリーダーなのはいたけど」

ジャッカル「アヤセ、時間保護局の新人捜査官、プロレーサーを目指していたがオシリス症候群で断念」

リサ「オシリス症候群って？」

ジャッカル「リサ達の言葉で言えば心臓病だ、スピード戦を得意とするタイムブ

ルーに変身する、ドモン、元格闘技グラップの元プロファイターだったが、試合を放棄して、時間保護局に転がり込む、パワーファイターのタイムイエローに変身する」

「こころ「放棄なんてもったいないわね、終わってからでも時間保護局に行けばよかったのに」

ジャッカル「まあ、いろいろあるんだよ、そしてシオン戦争で消滅したハバード星の唯一の生き残りでメカの特性を最大限に生かす、戦闘を得意とするタイムグリーンに変身する」

香澄「そういえば、もう一人出てくるって言ってましたけど」

ジャッカル「ああ、そうだな、それがシティガーディアンズの滝沢直人、高校時代の竜也の空手のライバルで空手による肉弾戦を得意とする、タイムファイヤーに変身する」

燐子「タイムレンジャーは赤が二人いるんですね」

ジャッカル「ああ、必殺武器は、圧縮冷凍を行うボルテックバズーカだ」

花音「圧縮冷凍って？」

ジャッカル「なんといえがいいかな、死刑とか終身刑といった刑の一つ？　って
いえばいいかな？　巨大ロボはタイムロボ α β タイムシャドウ タイムシャド
ウアルファ ベータ ブイレックスにブイレックスロボだ」

ましろ「結構多いと思ってたけど以外に少ないですね」

ジャッカル「次は、ロンダーズだ、ドン・ドルネロ、マフィアのボスで第一級犯
罪により1000年の圧縮冷凍形を受けていた、そしてギエン、もともとは、人間
の青年でありドルネロとは古い付き合いだ、左腕のアタッチメントと口からのビ
ームが武器だ、リラ、自己中心的かつ浪費と贅沢が好きな女性犯罪者だ」

はぐみ「？」

七深「もしかして、幹部の名前ってお金の単位ですか？」

ジャッカル「よく分かったな、さすがお嬢様といったところか、敵はロンダーズ
囚人、巨大化時には、制御シールをはがすことによる巨大化だ、戦闘兵はゼニット、
あとは、ヘルズゲート囚も存在している」

透子「ヘルズゲートって名前からしてやばそうなんだけど」

ジャッカル「ああそうだ、ロンダーズ囚人の中でも凶暴で危険なことから事実上

の終身刑を受けた犯罪者で、俺の思い出に残ってる回はそうだなFile 49千年の時をこえてだ、この回はタイムファイヤーの変身前の滝沢直人が戦闘員であるゼニットに射殺される、これはバトルフィーバーJの以来の戦闘員に射殺された話だな」

マスキング「マジか、やべえだろ」

ジャツカル「ちなみに黒幕を言い忘れたな、黒幕はリュウヤ隊長だ」

有咲「ちょまま、リュウヤって人タイムレンジャーの仲間じゃないのかよ」

ジャツカル「確かに、だが黒幕だつてことが明かされた、今回はここまでだ」

有咲「リュウヤって人最低じゃん」

蘭「そうだね、まさか、味方と思ってたけど、まさかの黒幕だったとはね」

スーパー戦隊解説25

ジャッカル「今回は、この戦隊だ、百獣戦隊ガオレンジャーだ」

彩「百獣ってことは、動物なんですか？」

ジャッカル「そうだ、21世紀を迎えた世界は環境汚染・生態系の異常。人間関係の疲弊化により地球の生命力が減少しつつあった、それにより闇の奥底から発生した邪氣が具現化し角を持つオルグと呼ばれる邪悪な鬼の一族が出現する、ある週末の夜。都心に現れたオルグと戦う4人の戦士ガオレンジャーは混乱の中パレードに参加していた象が暴れるのをなだめた獣医・獅子走を見かける」

日菜「今回は鬼が敵なんですな」

ジャッカル「そういうことだ、獅子走、獣医でパワーアニマルのリーダー ガオリオンに選ばれたパワー スピードとともに優れているガオレッドに変身する、鷲尾岳 ガオイーグルに選ばれた、元航空自衛隊パイロットの候補生でレッドが加入するまでは、リーダーを務めていた、空中戦を得意とする、ガオイエローに変身する、鮫津海 ガオシャークに選ばれたフリーターで水中戦を得意とするガオブ

ルーに変身する」

つくし「あれっ、変身前とパワーアニマルのモチーフが一緒になってるんだ」

ジャッカル「牛込草太郎、ガオバイソン選ばれた元力士で横綱を目指していたが、膝の怪我で引退でパワーを得意とする、ガオブラックだ、大河冴、ガオタイガーに選ばれた高校生で武術を得意としておりスピードに優れた戦士のガオホワイトに変身する、そして大神月麿ガオウルフに選ばれた戦士で先代ガオレンジャーの一人ではじめはオルグの一員となりガオレンジャーの敵となる」

彩「まさかの敵からって」

ジャッカル「パワーとスピードがもつともすぐれている戦士ガオシルバーになる」
あこ「シルバーの戦士って初めてだね」

ジャッカル「そうだ、必殺武器は、破邪百獣剣、そして、巨大ロボは、ガオキングそしてソード&シールド スピアー ダブルナックル アナザーアーム ストライカー クロスホーンスピアー&ウルフ スピアー&シールド スピアー&ナックル ガオマッスル マッスルストライカー ストライカー クロスホーン ストライカー スピアー ガオハンター ガオハンター ガオハンターイビル ハンタースピアー ハンター

ダブルナックル ガオハンタージャスティスそしてハンターブルームーン ガオイ
カロス アナザーフット&アーム ガオケンタウロス ガオゴッドそして劇場版に
出てきたガオナイト」

ましろ「うー、多すぎて頭が」

ジャッカル「ここから多くなるぞ、そしてオルグ側だ、オルグの神 百鬼丸、回想のみに登場したオルグだ、そしてハインスデューク シュテン、凶暴で破壊衝動が強いが、ウラによって処刑される」

彩「仲間が処刑するって、仲間をなんだと思ってるのかな？」

ジャッカル「そしてウラ」

瑠唯「確かシュテンってオルグを処刑したオルグね」

ジャッカル「そうだ、こいつは、狼鬼をよみがえらせた、張本人だ、そしてウラ究極体になる、そしてラセツ、自称 絶望の王子で食品や無機物を食らう、究極オルグ センキ シュテン ウラ ラセツの亡骸が融合して生まれた姿だ」

美咲「まさかの幹部が融合って」

ジャッカル「そして一本角のオルグ ツエツエ、人間の容姿に近いが、オルグ

シードと呼ばれるものでオルグを巨大化させる、そしてオニヒメにパワーアップし装甲ツエツエに代わるそしてヤバイバ、こいつはツエツエと同じで中間管理職」

千聖「中間管理職ってつらいわよ」

ジャツカル「こいつも装甲ヤバイバに変身する、そして狼鬼、こいつは、もともと、ガオシルバーの大神月磨だ」

香澄「だから、大神って人は敵だったのね」

ジャツカル「そうだ、怪人はオルグ魔人で戦闘員はオルゲットだ、ガオレンジャーの解説はここまでだ」

紗夜「この狼鬼ってオルグ以外にかっこいいですね」

友希那「そうね」

スーパー戦隊解説 26

ジャッカル「今回で26はこの戦隊だ、忍風戦隊ハリケンジャーだ」

イヴ「カクレンジャーに続くシノビの戦隊ですね」

ジャッカル「そうだ、戦国時代からの伝統を持ち、各界にOB OGを大量に送り込んでいる忍者集団・疾風流。ライバルである迅雷流との対抗戦を迎えたある朝、流派の拠点である養成学校・忍風館は宇宙忍軍ジャカンジャを名乗る集団の襲撃を受ける」

あこ「カクレンジャーとは違って敵も忍者なんですネ」

ジャッカル「ああ、まずは、椎名鷹介、ハリケンジャーとしての自覚は三人の中で最も強いタカ的能力を有するハリケンレッドに変身する、野乃七海 忍風館消滅後、ひょんなことから芸能界にスカウトされ演歌アイドルとして営業しながらジャカンジャと戦う、イルカ的能力を持つハリケンブルーに変身する、尾藤吼太 元訪問介護士で一番の年上、ライオンの力を持つハリケンイエローに変身する」

友希那「あらっ、ハリケンジャーは三人なのね」

ジャッカル「前半はなそして、霞一甲、霞兄弟の兄で迅雷流の一人、カブトムシの能力を有するカブトライジャーに変身する、霞一鍬 霞兄弟の弟で能力は一甲に匹敵するが精神的には未熟で、クワガタムシの能力を有するクワガライジャー、そしてシュリケンジャー、彼は疾風流と迅雷流の双方の忍術を極めているが正体は不明だ」

イヴ「正体不明のニンジャ、まさにシノビって感じですよ」

ジャッカル「必殺武器はトリプルガジェット ビクトリーガジェット巨大ロボは旋風神 旋風神ハリヤー 轟雷神 轟雷旋風神 リバルバー轟雷旋風神 天空神 天空旋風神 天空轟雷神 天雷旋風神 天空轟雷旋風神 リバルバー天雷旋風神だ」

つくし「本当に多いですね」

ジャッカル「ああ、強化形態もあるからな、次はジャカンジャだ、まずは首領タウ・ザント、ジャカンジャの首領でアレを手に入れるために部下をも捨て駒にする」
つくみ「あれて？」

ジャッカル「あとで説明する、タウ・ザント究極体にもなる、上忍はフラビー

ジョ、宇宙センター街でタウ・ザントにスカウトされる、そしてチュウズーボ

生物忍者を配下に持ち力押しの作戦を好む、そしてマンマルバ最初は幼体として登場しそして生体になるそして暴走体にもなる」

リサ「暴走体って強そう」

ジャツカル「ウェンディーヌ、彼女は錬金術師であり三軍団の宇宙忍者の巨大化を受け持つ、そしてサーガイン」

彩「サーロイン？」

千聖「サーガインよ」

ジャツカル「彼は武人にして科学者、本体は地球の蟻に類似した生命体だ、自立型ロボットを部下とする、そしてサタラクラ、こいつは、実力は申し分ない、中忍とのパイプ役でもある、そしてサンダール、こいつは、配下で従えているのは扇忍獣以外の部下は持っていない」

透子「そういえば、巨大化方法は？」

ジャツカル「ああ、指揮する忍者によって違う」

美咲「そうなんですか？」

ジャツカル「ああ、まずはサーガインのクグツ忍者はコピージャイアント、サタラクラの仮面忍者はデッ仮面そしてチュウズーボは再生巨大化の術の巻物だ」

瑠唯「面白いわね、各幹部によって、違うって面白いわね」

ジャツカル「そして戦闘員マゲラツパだ、あつ、あとは、アレの正体だ、その正体は、邪悪なる意思が潜む空間、厳密には惑星の死滅によるブラックホールだ、今日、ここまでだ」

イヴ「ハリケンジャー面白いですね」

千聖「しかし、アレの正体がやばいわね」

スーパー戦隊解説27

ジャッカル「よっしゃ、今回は、この戦隊だ、それは爆竜戦隊アバレンジャーだ」
彩「恐竜の戦隊ってジュウレンジャー以来ですね」

ジャッカル「あらずじはすまない忘れた、アバレンジャーのメンバーは伯亜凌駕、爆竜ティラノサウルスでアメリカでインタープリターの資格を取っている、ティラノサウルスを思わせる肉弾戦を得意とするアバレッドになる、三条幸人 爆竜トリケラトプスのパートナーで凄腕の整体師だが実は一流企業の三条コーポレーションの御曹司で華麗な動きで連続技を仕掛けるアバブルーだ、樹らんなる 爆竜プテラノドンのパートナーで元アイドル歌手だったが趣味のメカいじりができなくなるという理由で引退している、スピードと跳躍力に優れるアバレイエローに変身する」
あこ「そういえばこっちの形態は？」

ジャッカル「それはアバレモードと呼ばれるモードだ」

美咲「そういえば、恐竜ではなく爆竜なんですね」

ジャッカル「そうだ、そしてアスカ 爆竜ブラキオサウルスのパートナーであり

ダイノアースの竜神族でアバレンジャーのリーダー格でアブレブラックに変身する、そして、仲代千琴で爆竜トップゲイラーのパートナーで天才外科医だ、最初は敵だったが、最終的には仲間になりアブレキラーに変身する」

ましろ「アブレキラーかっこいい」

ジャッカル「ましろわかってるじゃねえか、必殺武器は、ダイノボンバーにスーパーダイノボンバーにスーペリアダイノボンバーだ、巨大ロボはアバレンオーにアバレンオージ アバレンオーナグルス アバレンオーノコドン アバレンオースライドン アバレンオーロックル アバレンオーベイルス ベイルスロックルにベイルスノコドン ノコドンファイヤーそしてキラオーとナグルスノコドン ベイルスロックル キラーアバレンオー オオアバレンオー マックスオージヤ マックスリュウオーに悪の巨人バクレンオーだ」

瑠唯「確かに登場ロボが多くなってますね」

ジャッカル「そしてエヴォリアンだ、デズモゾーリヤ、エヴォリアンの神だデズモリジュエルになるそしてデズモヴォーラにもなるそして残留思念が侵略の園に憑依したデズモゲヴァルスだ、そして創造の使徒ミケラ、こいつはトリノイド制作担

当だ、そして無限の使徒ヴォツファ、こいつはミケラと違いギガノイド制作担当だ」

ましろ「ギガノイドにトリノイド？」

ジャッカル「ああ、トリノイドは今までの怪人と同じ、ギガノイドは最初から巨大な敵だ、そして黎明の使徒リジェ、見た目は少女の姿だが、ギガノイドやトリノイドが地球に送り込むことができる、そして黎明の使徒リジュエルに急成長する」
有咲「マジか」

ジャッカル「そして破壊の使徒ジャンヌ、実践を任務とするエヴォリアンの幹部だが、その正体はアスカの恋人で竜神族のマホロだった、そして暗黒の使徒ガイルトンで、見た目は鎧でその正体はマホロの兄ミズホだった」

透子「そうだったの」

ジャッカル「そして怪人はトリノイドとギガノイド、トリノイドは動物＋植物＋何かの組み合わせでギガノイドは交響曲だ、そしてキラーゴーストで戦闘員はバミア兵だ、だが第41話でレインディアサントの能力により一般人が替えられた」

彩「確か、トリノイドって動物＋植物十何かだよ、今回の場合ってサントとあ
と何？」

千聖「多分、サンタとトナカイと麻ね」

ジャッカル「千聖、正解だ、アバレンジャーの解説はここまでだ」

蘭「人間を戦闘員に帰るなんて恐ろしいトリノイドね」

モカ「確かにそれなら、アバレンジャー達は攻撃できないね」

スーパー戦隊解説28

ジャッカル「今回は、これだ、特捜戦隊デカレンジャーだ」

つくし「デカってことは警察？」

ジャッカル「そうだ、恒星間飛行が現実のものとなり地球人類と異星人の交流が日常となっている時代、犯罪もその態様を変えていた、地球人が持たない身体能力や地球文明が及ばない科学技術を用いた犯罪はもはや地球の警察の処理の限界を超えていた」

彩「ということは、デカレンジャーも犯罪者が相手ってこと？」

ジャッカル「そうだ、赤座伴番 地球所の新任刑事で射撃力に優れているデカレッドに変身する、戸増宝児、地球所のデカレンジャーのリーダー的存在でバランスに優れるデカブルーに変身する、江成仙一 推理力が地球所随一だが、かなりの変人で身軽のな動きの出来る、デカグリーンに変身する」

千聖「警察がモチーフってのも面白いわね」

ジャッカル「礼紋茉莉花、サイコメトリー能力を持つエスパー捜査官で冷静な判

断力で相手の先手を取るデカイエローに変身する、胡堂小梅 自称リーダーの危なっかしい性格をしてるが交渉術にたけているメンバーで接近戦を得意とするデカピンクに変身する」

有咲「というかエスパーってチートだろ」

ジャッカル「そして始良鉄幹 本部長菅直属の特キョウ1班所属の刑事でデカブレイクに変身する、アヌビス星人ドギークルーガー、銀河一刀流と呼ばれる宇宙最強の免許皆伝者であり剣術を得意とするデカマスターに変身する、そしてチーニョ星人 白鳥スワン、地球所のメカニック担当で白鳥のような華麗な動きで戦うデカスワンに変身する、必殺武器はDバズーカで巨大ロボはデカレンジャーロボ ライディングデカレンジャーロボ 映画に登場デカレンジャーロボフルブラストカスタム デカベースロボ デカバイクロボ スーパーデカレンジャーロボ デカウイングロボだ」

レイヤ「結構メンバー多いんだね」

ジャッカル「そしてアリエナイザーについてだ、エージェントアブレラ、こいつは敵組織が判明してないためレギュラーとして登場する悪役だヘルズ3兄弟、宇

宙を荒らしてきたリバーシア3兄弟でブリッツ・ヘルズ ボンゴブリン・ヘルズ
サキュバス・ヘルズだ戦闘員はアーナロイド バーツロイド イーガロイドだ」
マスキング「そういえばアリエナイザーの犯罪者たちは巨大化しないのか？」
ジャツカル「ああ、それは一部はするがほとんどは怪重機と呼ばれる商品に乗り
込む」

紗夜「それってゴーフアイブのcongみたいなものですね」

ジャツカル「そうだ、今日はここまでだ」

友希那「それにしても、タイムレンジャーに続き敵が犯罪者とはね」

リサ「そうだよね、犯罪はだめだよね」

スーパー戦隊解説 29

あこ「そういえば、今回で29回目だね、29回目はどんな戦隊なのかな？」

ジャッカル「29回目の戦隊は魔法を使う戦隊だ」

千聖「魔法を使う戦隊、ということはあの戦隊ね」

彩「どの戦隊？」

千聖「忘れたの？マジレンジャーよ」

ジャッカル「そうだ、今回は、魔法戦隊マジレンジャーだ」

彩「そんな戦隊解説されてないわよ」

千聖「何言ってるの、カシャの解説の時出てきたでしょ」

彩「そういえばそうだったね」

ジャッカル「あらすじはとある、古風な一軒家に住む小津家、家の主である小津

美雪は自信の子供らろごく普通の暮らしを営んでいた」

美咲「兄弟戦隊で家族なんだね」

瑠唯「確か、ファイブマンもそうだったわね」

ジャッカル「しかし、ある日曜日の朝、一家の前に光の魔法陣が出現、そしてそこから醜悪な化け物が飛び出てくる、そしてマジレンジャーの小津魁、小津家の三男で高校生だ、炎をつかさどるマジレッドに変身する、小津翼、小津家の次男でマジレンジャーのサブリーダーだ、雷の力を持つマジイエローに変身する」

燐子「魔法使い確か、NFOでは私の役割だったよね」

ジャッカル「そして、小津麗、小津家の次女で水晶で占いをすることができ、水の力を持つ、マジブルーに変身する、そして小津芳香、天然ボケな小津家のムードメーカーで風の力を操るマジピンクに変身する、小津蒔人、小津家の長男でリーダーで大地の力を操るマジグリーンに変身する」

香澄「そういえば、追加戦士もいるんですよね」

ジャッカル「ああ、ヒカル、小津家の魔法の教師で麗の嫁だ、光の力を使うマジシャインに変身する、そして、小津深雪、小津家の大黒柱で、氷の力を使うマジマザーに変身する、そして、小津勇、炎の力を操る、ウルザードファイヤーに変身する」

リサ「結構出てきますね」

ジャッカル「ああ、必殺武器というか必殺技は、マジ・マジュール・ゴゴール・ジンガジンで放つファイブファンタスティックエアリアルだ、そして、レジェンドマジレンジャーにも変身できる、そして、敵側の地底冥府インフェルシアだ」

あこ「地底冥府？」

ジャッカル「まずは冥獣帝ン・マ、インフェルシアの帝王で、そして絶対神ン・マに姿を変える、そして剛力大将ブランケンだ、インフェルシアの初代最高幹部だ、こいつは、失敗したもののや敗北した者の処刑を行う」

マスキング「マジか」

ジャッカル「そして、魔道神官メーミィ、こいつはブランケンに代わる最高幹部で、作戦が失敗するとヒステリーを起こすだけだ」

レイヤ「ブランケンよりはましなのかな？」

ジャッカル「そして、妖幻密使バンキュリア、こいつは、インフェルシアの幹部でスパイ、完全に倒されても、完全に復活する、そして魔動騎士ウルザード」

りみ「ウルザードって確か」

ジャッカル「気づいたか、ウルザードファイヤーは、もともとウルザードだ」

ましろ「じゃあ、もともとは敵だったってことですか？」

ジャッカル「そうだ、こいつは、もともとは、敵だった、そして戦闘員は冥府兵
ゾビルそしてハイゾビル、怪人は、冥獣そして冥獣人 冥府神だ、巨大ロボはマジ
キングそしてトラベリオン ファイヤーカイザー マジレジェンド セイントカイ
ザーだ、今日はここまでだ」

あこ「魔法使いの戦隊かっこよかった」

燐子「そうだね」

スーパー戦隊解説 30

ジャッカル「ついに、この戦隊が来てしまった」

あこ「どういうことですか？」

ジャッカル「正直この戦隊は、敵組織が複数いるから解説が面倒になっていく、スパパパつといくぜ」

香澄「そんなに多いんですか？」

ジャッカル「ああ、ガチでな、その名も轟轟戦隊ボウケンジャー、この戦隊は主に、敵を倒すのが目的ではない」

レイヤ「違うんですか？じゃあ何が」

ジャッカル「プレシヤスもとい宝の回収だ」

こころ「お宝回収面白そうね」

ジャッカル「あらすじは地球に眠る大いなる力を秘めた現代の科学水準を超えた古代の危険な秘宝プレシヤス、世界を滅ぼすことも容易いそれらの秘宝を狙う悪を多くいる、民間団体、サージェス財団は、プレシヤスを回収し悪の手に渡らぬよう

に保護管理するために精鋭部隊を結成する」

ましろ「それがボウケンジャーってことですか？」

ジャッカル「そうだ、まずは、ボウケンジャーのメンバーだ、明石暁、ボウケンジャーのチーフで不滅の牙と呼ばれるほどの凄腕のトレジャーハンターでその世界では伝説となっている身体能力 判断力 戦闘技術に秀でたボウケンレッドに変身伊能真墨 少年時代からトレジャーハンターとして活躍しており、明石に対してライバル心を持っている、素早さが得意なボウケンブラックに変身する、最上蒼太元はフリーの国際スパイで当時はスリル欲しさに罪悪感を持たずいくつもの企業や国家を崩壊させている、アクロバット戦法にすぐれ空中戦を得意とするボウケンブルーに変身する」

美咲「企業スパイってやるじゃない」

ジャッカル「間宮菜月 2年前にある遺跡で気を失っていたところを真墨に助けられる、本名はレムリア人の生き残りリリーナ」

紗夜「ということは古代人ってことですか？」

ジャッカル「そういうことだ驚異的なパワーを誇るボウケンイエローに変身す

る、西堀さくら 世界有数の資産家西堀財閥の一人娘だが陸上自衛隊に入隊し射撃のオリンピック候補にまで上り詰める射撃や剣術や格闘技にすぐれるボウケンピンクに変身する、高丘映士 本来は先祖代々アシュの監視 殲滅をしてきた高岡流の一族の末裔で攻撃力 防御力にすぐれるボウケンシルバーに変身する、そして大検人ズバーン」

あこ「金色の剣かっこいい」

ジャッカル「こいつは、レムリアのプレシヤスである黄金剣が人型に変形した姿だ、必殺武器はデュアルクラッシャー巨大ロボはダイボウケン ダイボウケンドリル ショベル ドリル&ショベル ミキサー ドリル&ミキサー クレーン ドリル&クレーン ショベル&クレーン エイダー&ポリス スーパーダイボウケン アルティメットダイボウケン ダイタンケン サイレンビルダー ダイボイジャーだ」

リサ「平成になると結構多いね、友希那大丈夫？」

紗夜「湊さんがフリーズしてます」

リサ「マジ」

ジャッカル「次は、敵であるネガティブシンジゲートだ、はじめはゴードム文明、大神官ガジャ、ゴードム文明の指導者でモチーフはバリキキーンだ、そしてゴードムエンジン　ゴードムの心臓で変貌した姿それがガジャドムだ、モチーフはオーブロッカーだ」

彩「もしかして、今回の敵って過去の戦隊のロボがモチーフに？」

ジャッカル「そうだ、そして戦闘員はカースで怪人は巨神とよばれる、怪物だ、次はジャリユウ一族で、創造王リユウオーン、ジャリユウ一族の長でモチーフは大獣人だ、ちなみにこいつは、もともと人間だ、そして大邪竜そして怪人が邪悪竜だ」

つくし「うー、結構多いよ」

ジャッカル「次は、ダークシャドウ、こいつらは忍びだ」

イヴ「忍びですか？」

ジャッカル「幻のゲッコウ、ダークシャドウの首領でDSカンパニーの社長モチーフはツバサマル、こいつがツクモガミ変化の術でツクモガミを生み出し、オオガミの術で巨大化させる、そして魔鳥、ゲッコウによって封印されていたがヤイバの裏

切りで蘇る、モチーフはジェットガルーダだ」

透子「本当に多いんですね」

ジャッカル「ああ、次は闇のヤイバ、ダークシャドウの戦鬪頭でDSカンパニーの部長モチーフは無敵將軍、そして風のシズカ　ダークシャドウのくのいちでDSカンパニーの部長で実力はかなり高いそして虹の反物によって風のスーパーシズカに変身するモチーフはスーパー隠大將軍だそして、怪人はツクモガミ、中忍クラスだ」
千聖「ツクモガミってあの？」

ジャッカル「そうだ、そして、クエスター、その一人クエスター　ガイ、ゴードムエンジンで強化再生したアシュ、映士の父親の仇でもある、モチーフは大連王ガイ百鬼界への追放を免れていたアシュで怒りの鬼神の異名を持つモチーフは龍星王そしてクエスター　レイ人間を見下し憎悪しているためガイと共通であるモチーフは牙大王レイ　ガイと大いなる獣の異名を持つ、モチーフはウォンタイガー、戦鬪ロボはクエスターロボそしてアシュ　ヒョウガ、ガイやレイと同じく百鬼界へ追放を免れたアシュ　モチーフはダイムゲン　オウガ西のアシュの一人モチーフはガオハンターイビル、今日はここまでだ」

瑠唯「まさか、敵組織がここまで多いとは思わなかったわ」
七深「そうだね」

スーパー戦隊解説 31

ジャッカル「今回は、この戦隊だ獣拳戦隊ゲキレンジャーだ、あらすじは古代中国で誕生した、獣の力を手にする拳法、獣拳だが、ある時を境に正義の流派 激獣拳ビーストアーツと邪悪な流派 臨獣拳アクガタに分かれた」

美咲「という今回は獣と拳法ですか？」

ジャッカル「ああ、まずは漢堂ジャン、幼少の頃に樹海の密林で虎に育てられた野生児」

彩「あらっ、そうなの？」

ジャッカル「ああ、そうだ、激獣タイガー拳を使う、ゲキレッドに変身する、宇崎ラン ゲキレンジャーのリーダー的存在で、陸上の選手をしていた、激獣チーター拳を使いスピードに優れる、ゲキイエローに変身する、深見レツ、格闘技に精通する理論派で激獣ジャガー拳を使う、ゲキブルーに変身する」

千聖「そういえば、ゲキレンジャーもパワーアップするんですか？」

ジャッカル「ああ、スーパーレギレンジャーになる、そして深見ゴウ」

友希那「深見？もしかしてレッツの」

ジャッカル「そういうことだ、亡くなったと思われていたレッツの兄だ、突然狼男の姿でゲキレンジャーの前に現れムエタイの構えを取る激獣ウルフ拳を使うゲキバイオレットだ」

有咲「バイオレット？紫の戦士は初めてですね」

ジャッカル「久津ケン、激獣拳最古の拳で空手のような劇獣ライノセラス拳を使う、ゲキチョッパーに変身する、そして敵である臨獣拳だ、黒獅子リオ　リオが臨気凱装で変身する戦闘形態だ、強力な、臨獣ライオン拳を使う、のちに幻獣グリフォン拳を使う幻獣王リオになる、そして、メレ臨獣カメレオン拳を使うのちに幻獣フェニックス拳を使う鳳凰メレに変身しのちにゲキレンジャーの仲間になる」

ましろ「なんかこういう展開好きだな」

ジャッカル「そして三拳魔だ、空の拳魔カタこいつは、臨獣ホーク拳を使う、そして海の拳魔ラゲク、臨獣ジェリーフィッシュ拳を使うそして大地の拳魔マク、拳魔のリーダー格で臨獣ベアー拳を使うそして、こいつを忘れてたロン、こいつは臨獣殿のボスだ、戦闘員はリンシーそしてリンリンシーだ、巨大化は臨気奔流豪天変

で巨大化する」

花音「そういえば、巨大ロボとかは？」

ジャッカル「そうだったな、必殺武器はゲキバズーカとスーパーゲキバズーカだ、巨大ロボはゲキトージャ　ゲキファイヤー　ゲキトージャウルフ　サイダイソー　サイダイゲキトージャだ、今日は、ここまでだ、幻獣拳はのちのち解説する」

紗夜「まさか初めての紫の戦士が現れるとは思ってませんでした」

リサ「そうだよね、敵が仲間になるってのも面白いし」

スーパー戦隊解説 32

ジャッカル「今回は、この戦隊だ、炎神戦隊ゴーオンジャーだ」

彩「今回は、車なんですか？」

ジャッカル「ああ、意思を持ち言葉を話す乗り物型の機械生命体炎神、彼らが住む異世界マシシワールドでは汚れた環境を好みの公害をまき散らそうとする機械生命体蛮機族ガイアークが猛威をふるまっていた」

瑠唯「今回は、別世界の話なんですか？」

ジャッカル「いや、多数の世界があるうちのヒューマンワールドでの話だ、江角走輔、ゴーオンジャーのリーダー格で元カーレーサーだ、素早さに優れるゴーオンレッドに変身する、香坂連、ゴーオンジャーの参謀格でレース場の送迎バスの運転手で怪力の持ち主で豪快な攻撃も得意とするゴーオンブルーに変身する、楼山早輝、パティシエ志望で製菓学校に通っていた少女で、レース場の売店でアルバイトをしていた際に事件に巻き込まれゴーオンジャーになる、素早く動き死角からの攻撃を得意とするゴーオンイエローになる」

彩「ということは、今回は、レース場が鍵？」

ジャッカル「どうか、城範人 フリーターでゴーオンジャーにアルバイト感覚で加入アクロバティックな動きで翻弄する、ゴーオングリーンに変身、石原軍平 元警察官で調査に基づき敵を追い詰めるプロフェッショナルだ、射撃能力に秀でる ゴーオンブラックになる、そしてゴーオンウイングス、須塔大翔、ボクシングを得意とする、そして、運動 学問 料理なども完璧にこなす相手の先を読む戦いを得意とするゴーオンゴールド、須塔美羽」

日菜「あれっ、須塔って」

ジャッカル「ああ、大翔の妹だ、好奇心な性格で第六感や機器察知能力を持っている華麗な動きから相手の急所を突く戦いを得意とするゴーオンシルバーになる、必殺武器はスーパードライバスター、巨大ロボは、エンジンオー エンジンオーバルカ エンジンオーガンパード ジェットリプター ジェットラス ガンバルオー エンジンオー G6 セイクウオー G9 キョウレツオー G12 炎神大將軍だ」

紗夜「そういえば、なんか、早そうですね」

ジャッカル「次はガイアークだ、害地大臣ヨゴシュタイン、三大臣の一人で大地を汚すガイアークを作り出す害気大臣キタネイダス」

友希那「害気ってことは空気を汚すことが目的なのね」

ジャッカル「そうだ、こいつは蛮機獣の開発、製造だ、そして害水大臣ケガレシアだ」

リサ「というと今度は水なんだ」

ジャッカル「そうだ」

たえ「というかカゲレシアって幹部おっp」

有咲「お前マジで言わせねえからな」

ジャッカル「害地副大臣ヒラメキメデス、こいつはヨゴシュタインの直属の部下だ、そして総裏大臣ヨゴシマクリタイン」

日菜「なんかガイアークのお偉いさんが出てきたね」

ジャッカル「日菜のいう通りだ、こいつは、ガイアークの指導者だ、そして、掃治大臣キレイズキーだ、こいつは、邪魔者を排除する、害水目出身だ、そして危官房長官チラカソーネ、害気目出身だ、そして害水王子ニゴール・ゾ・アレレンブラ、

こいつは美しく清潔なものを愛する奴だ」

ましろ「地球を汚そうとしているガイアークにしては珍しいね」

ジャッカル「害水機士ウズマキホーテ、アレルンブラ家を守りニゴールに使える害水目の害水気士だ、そして蛮機族ホロindelタル6500万年前にダイナワールドの恐竜を滅ぼしたとされた蛮機族だ」

こころ「となると恐竜が滅んだのは、こいつの仕業だったのね」

ジャッカル「そして初代害統領バッチードだ、こいつは初代害統領だ、怪人は蛮機獣だそして戦闘員はウガツだ、今日はここまでだ」

千聖「なんかベーダーみたいな敵だったね」

彩「それ私も思った」

スーパー戦隊解説33

ジャッカル「今回は、イヴが好きそうな、戦隊だ」

イヴ「私のですか？」

彩「33番目のスーパー戦隊はどんな戦隊なんですか？」

ジャッカル「今回は侍戦隊シンケンジャーだ」

イヴ「侍ってことは、ブシドーですね」

ジャッカル「そうだ、この世とあの世をつなぐ狭間を三途の川に住む妖怪外道衆。外道衆は遥かな昔から人間たちを襲い苦しめてきたが、300年前(1709)年より戦い続けてきた者たちがいた、彼らの名は侍戦隊シンケンジャー、志葉家の当主とその家臣で構成された侍たちである」

あこ「侍ってかっこいい」

ジャッカル「シンケンジャーのメンバーの紹介だ、まずは志葉丈瑠、火のモジカラを操る侍でシンケンジャーのリーダーで強力な火の力を操るシンケンレッドに変身する、池波流ノ介、歌舞伎役者の家計出身で、シンケンジャーのサブリーダー、

水のモジカラを操るシンケンブルーに変身する、白石茉莉、招集前は幼稚園でアルバイトをしていた、天のモジカラを持つシンケンピンクに変身する」

たえ「そういえば、顔に」

有咲「おたえ、これ以上はやめろ」

ジャッカル「谷千秋 招集前は普通の高校生で物語開始時は卒業間近だったが責務のため卒業式には出られていない」

リサ「運悪いね、卒業式は集大成なのに」

ジャッカル「木のモジカラを持つシンケングリーンに変身する、花織ことは、もともとは地元で家業の竹細工作りをしていたが体の弱い姉みつばの変わりに変身する、土のモジカラを持つシンケンイエローに変身する、そして梅森源太、本業は寿司屋で、丈瑠の親友で光のモジカラを使うシンケンゴールドに変身する」

友希那「火に天に水に土に木に光、なんか面白い組み合わせね」

ジャッカル「あつ、あと、一人忘れてた、志葉薫」

千聖「志葉ってじゃあ、彼女は」

ジャッカル「ああ、真の志葉家の十八代目当主にして志葉家の最後の女侍だ、火

のモジカラを持つシンケンレッドに変身する」

つくし「あれっ、シンケンレッドが二人出てくるのね」

ジャッカル「そして、外道衆だ、血祭ドウコク、こいつは、短気な性格で本気で怒ると手が付けられない、薄皮太夫、ドウゴクの側近でもとは薄雪太夫という名の人間だ」

瑠唯「結構、元人間の敵が多いですね」

ジャッカル「確かに、骨のシタリ、ドウゴクの知恵袋な存在だ、腑破十蔵、こいつの武器は妖刀裏正だ」

紗夜「確か、妖刀って」

あこ「うん、妖気を帯びた刀だよ」

ジャッカル「はぐれ外道衆のため、二の目での巨大化能力は無いだ、そして、殻のアクマロだ、どうやら、こいつは、以前のシンケンジャーと戦闘経験がある、そして、怪人枠はアヤカシだ、そして、戦闘員はナナシ連中、ノサカマタだ、あとそうだ、こいつを紹介し忘れた」

美咲「こいつ？」

ジャッカル「それは、チノマナコ、こいつのモチーフは目目連だ、武器は全身の目を爆弾そしてディエンドライバーによる変身及び銃撃そしてカイジンライドによる召喚」

つくし「ディエンドライバーって確か、仮面ライダーディエンドの変身アイテムですよ、なんで外道衆であるチノマナコが？」

ジャッカル「それはな、ディケイドのコラボ回でディエンドライバーを盗んだからな、そして、カイジンライドでイーグルアンデッドそしてムースファンガイアを召喚している、それにより二の目による巨大化能力がなくなっている、今日は、ここまでだ」

燐子「待ってください、外道集の巨大化が二の目ってのはわかったんですが巨大ロボの解説がないです」

ジャッカル「あつ、忘れてた、必殺武器は烈火大斬刀の大筒モードで巨大ロボは、シンケンオー カブトシンケンオー カジキシンケンオー トラシンケンオー イカシンケンオー キョウリュウシンケンオー ダイテンクウ テンクウシンケンオー イカテンクウバスター ダイカイオー ダイカイオーの東西南北 イカダイ

カイオー　ダイカイシンケンオー　ダイゴヨウ　シンケンダイゴヨウ　モウギユウ
ダイオー　サムライハオー　キョウリュウサムライハオーだ、今日はここまでだ」
イヴ「シンケンジャー見たくなってきました」

彩「じゃあ、あとでビデオ屋行こう」

スーパー戦隊解説 34

ジャッカル「今回は、この戦隊だ、天装戦隊ゴセイジャーだ」

彩「ゴセイジャーはどんな戦隊なんですか？」

ジャッカル「そうだな、全員天使だ」

美咲「全員天使ってなんでもありね」

ジャッカル「ゴセイジャーも面倒なんだよね、敵が多いし」

あこ「そうなんですか？」

ジャッカル「あらすじだ、護星天使、それは太古の昔から人知れず悪から地球を守っていた存在だ、そして宇宙虐滅軍団ウォースターは次の標的を地球を選ぶ、そしてゴセイジャーはなんとか倒すが、さらに1万年前にエルレイの匣に封印されていた幽魔獣がよみがえる、さらに何とか倒すがさらに海底からマトランティスが現れる」

あこ「すごいね、3体なんだね」

ジャッカル「いや四組織だ、まあ、最後はボスだからあとからな、まずは、ゴセイ

ジャーのメンバーだ、アラタ スカイック族の青年で楽天的な性格だ、風や雷の天装術を使うゴセイレッドに変身する、エリ アラタと同じでスカイック族でアラタの幼馴染で素早い攻撃を得意とするゴセイピンクに変身する、アグリ、ランディック族の青年でモネの兄、ゴセイジャー1の怪力の持ち主でマグマや植物の天装術を使う、ゴセイブラックに変身する」

紗夜「というか、4組織ってさすがに」

ジャッカル「モネ、アグリの妹で猪突猛進な性格で素早さを得意とするゴセイイエローに変身する、ハイド、シーイック族の青年で水の天装術を使うゴセイブルーに変身する」

彩「そういえば、シーイックって一人しかいないんですか？」

ジャッカル「いや、もう一人いた、まあ番外編だが解説しておくか、マジス 彼はハイドの回想に登場する、シーイックでハイドの親友にし相棒で回想でゴセイグリーンに変身していたが、かつて5000℃のクラスニーゴに迎え撃つも返り討ちに合い自らの命を落とす、そして、こいつだ、ゴセイナイト、こいつは、最強のゴセイヘッダー グラディオヘッダーで陸 海 空の天装術をナイティックパワー

として使えゴセイジャー以上の戦闘力を持っている」

有咲「ちょまま、そいつ一人で全部の天装術を使えるのかよ」

ジャッカル「ああ、必殺武器はゴセイバスターで巨大ロボゴセイグレート シー
イック アナザーシーイック ランディック アナザーランディック エキゾチッ
ク スカイック ミステイック スライカンドシーゴセイグレート サポートロボ
のデータスハイパー ハイパーゴセイグレート ゴセイグランド グランドゴセイ
グレート グランドハイパーゴセイグレート ゴセイアルティメット アルティ
メットゴセイグレート ワンダーゴセイグレートだ」

瑠唯「やっぱり数が多いわね」

ジャッカル「次は悪しき魂だな、その一つ宇宙虐滅軍団ウォースターだ、ウォー
スターのリーダー、惑星のモンス・ドレイク ウォースターの首領でモンス星の出
身だ、流星のデレプタズティンマ星出身の幹部で天の塔を破壊した張本人だ、そ
して彗星のブレドラン、出身星不明のウォースターの幹部だ」

あこ「出身星不明ってかっこいい」

ジャッカル「こいつの趣味はコスプレだ」

レイヤ「ちょっと待って趣味って」

ジャッカル「なぜか、こいつらは趣味も書かれている、そして衛星のターゲット
スアイラゴ星の出身のウォースターだ、そして怪人は星人だ、次は、地球犠獄集
団幽魔獣だ、ウォースター壊滅後に現れた組織で二大ボスの一人ブロブの膜イン口
が頭頂部にあるのが特徴だ、そしてビッグフットの筋グゴン、こいつは力と怪力が
武器だ」

七深「あれっ、こいつのモチーフってビッグフットですか？」

ジャッカル「そうだ、そしてチュパカブラの武レドラン、彗星のブレドランが進
化した姿で膜インと筋グゴンを解放した張本人だ、怪人は幽魔獣だ、機械鎧塵帝国
マトリンティス、皇帝の10サイのロボゴッグで非常に傲慢で自信過剰に加え他者
を顧みない自己中心のかつ独善的な性格だ」

彩「今度は機械帝国なんですね」

ジャッカル「そしてエージェントメタルA、マトリンティスの元帥でロボゴ
ッグの秘書で戦闘データの分析や巨大化の役割を担う、そしてサイボーグのブレド
R
UN」

美咲「またか」

ジャッカル「マトリンティスの幹部でチュパカブラの武レドランが意識不明で満身創痍だった状態でメタルAに回収され記憶情報被消去肉体強化を受けたサイボーグだ、そして、怪人はマトロイドだ、最後は地球救星計画で元護星天使であるブラジラとその配下のヘッダーからなる組織だ、ちなみにブラジラは今までのブレドランの正体だ、そして、ゴセイジャーVSシンケンジャーにて外道衆での姿、血祭のブレドランも登場する、巨大化方法は、ビービ虫でマトリンティスがビービネイルで戦闘員は魔虫兵ビービだ、今日はここまでだ」

マスキング「まさか、ブラジラの正体が裏切者のブレドランだったとはね」
レイヤ「そうだね」

スーパー戦隊解説 35

ましろ「そういえば、もう35だね、35番目の戦隊ってなんだろう」

ジャッカル「35番目の戦隊は宇宙海賊だ」

たえ「それってバルバン？」

有咲「それは、ギンガマンな」

ジャッカル「違う、今回は、海賊戦隊ゴーカイジャーだ、あらすじは宇宙帝国ザンギヤックが地球を我が物にしようとするため大艦隊で地球に攻めてくる」

美咲「それって、まずくない？」

ジャッカル「ああ、だが、それに立ち向かうのはゴレンジャーからゴセイジャーまでの34のスーパー戦隊でなんとか大艦隊を追い返す、それをレジエンド対戦という、そして宇宙最大のお宝を狙って、35番目のスーパー戦隊がやってくる」

レイヤ「ちょっと待って、それってザンギヤックがまた来たってこと？」

ジャッカル「そういうことだ、キャプテン・マーベラス、ゴーカイジャーのリーダーでガレオンの船長で懸賞金が当初は150万ザギンだ、剣と銃を使うゴーカイ

レッドに変身する、ジョー・ギブケン　ゴークイジャーのサブリーダーで当初は100万ザギン、元ザンギャックの特殊部隊、二刀流を得意とするゴークイブルーに変身する、ルカ・ミルフィ当初は30万ザギンで元女盗賊、投げた剣をワイヤーで操るゴークイイエローに変身する」

イヴ「二刀流かつこいいです」

ジャッカル「ドイン・ドッゴイヤー、通称ハカセ、当初は1000ザギン」
彩「100万の間違いじゃないんですか？」

ジャッカル「いや、100ザギンだ、元修理屋だ、コミカルなアクションを駆使する、ゴークイグリーンに変身する、アイム・ド・ファミリー、ザンギャックに滅ぼされたファミリー星の元王女、当初は50万ザギンで、二丁拳銃を使うゴークイピンクに変身する、伊狩鎧、彼は唯一の地球人だ、10万ザギンで槍を使うゴークイシルバーに変身する」

千聖「マーベラスはともかく元ザンギャックに女盗賊に修理屋に王女、変わった組み合わせね」

ジャッカル「必殺武器は、ゴークイガレオンバスター」

紗夜「あれっ、その武器ってオーレバズーカ？」

ジャッカル「よく気づいたな、これはオーレンジャーの大きいなる力で作り上げた武器だ、そして巨大ロボは、ゴーカイオーにゴレン マジ デカ ガオ シンケン ゴーオン カンゼン ハリケンゴーカイオーだ、そして豪獣神だ」

友希那「もしかして、ゴーカイジャーってゴレンジャー〜ゴセイジャーまでの力が使えるのね」

ジャッカル「そうだ、次はザンギャックだ、まずは初代皇帝ワルズ・ギル、こいつはお坊ちゃんだ、そしてその親父アクロス・ギルだ、そして、幹部は、ダマラス、ワルズの補佐役だが宇宙最強の軍師だ、インサーン、彼女は、行動隊長の改造手術担当で巨大化ビームで戦闘員のゴーミンやスゴーミン、行動隊長を巨大化させる」

あこ「戦闘員も巨大化するんですね」

ジャッカル「ああ、そしてバリゾーグ、行動隊長ザイエング、ジョーの先輩シドを改造手術した姿だ、そうだな、皇帝親衛隊デラツエイガー、こいつは、剛腕腕で怪力に超越剛腕筋肉を装備した、ザツリグ、アクロスの側近で皇帝親衛隊の一人だ、ダイランドー、こいつも皇帝親衛隊だ、そして、怪人枠は、行動隊長だ、戦闘員は

ゴーミン スゴーミン ドゴーミンだ」

彩「そうなんですネ」

ジャッカル「そして第3勢力バスコ・ダ・ジロギアだ、こいつは、マーベラスがいた赤き海賊団だ、あと、のちにバツカス・ギルやゴクドス・ギルが登場している、今日はここまでだ」

瑠唯「ゴーカイジャー面白そうね、見てみようかしら」

透子「珍しいじゃん、瑠唯がそういうの」

スーパー戦隊解説 36

ジャッカル「さて、これで36番だな」

あこ「そうですね」

ジャッカル「さて、今回は特命戦隊ゴースターズだ」

美咲「ゴースターズはどんな戦隊なのかしら？」

ジャッカル「あらすじとしては、新西暦1999年のクリスマス転送センターのコンピューターに内に侵入した、謎のコンピューターウイルスがメインプログラム、メサイアに感染した。ウイルスの影響で自我を持ったメサイアが暴走、そして亜空間ごと転送することに決めた職員たちはついにセンターごと転送する」

彩「そこからゴースターズの戦いが始まったわけね」

ジャッカル「そういうことだ、まずはメンバーだな、桜田ヒロム、ゴースターズのリーダーで、ワクチンプログラムの影響で超加速できるがニワトリを見るとフリーズする」

つくし「えっ、なんでですか？」

ジャッカル「ヒロムは昔かくれんぼしているときにニワトリ小屋で襲われそれから苦手になった、超加速にすることに優れるレッドバスターに変身する、岩崎リュウジ ワクチンプログラムの影響で、超パワーを発揮するが、体温が上がると熱暴走を起こしてしまう、パワーに特化した、ブルーバスターに変身する、そして宇佐美ヨーコ、ワクチンプログラムでかなりの跳躍力にすぐれるが、菓子などでカロリーを取らないと行動不能になる」

蘭「それって、つねに甘いものを取ってないと動けなくなると」

ジャッカル「そうだ」

モカ「・・・」

ひまり「なんで私を見るの？」

モカ「ひーちゃん、よくカロリーとってるじゃん」

ひまり「モカ(怒)」

ジャッカル「跳躍力を生かした、イエローバスターに変身する、陣マサト リュウジの先輩でアバターだ」

瑠唯「アバター？なぜなのかしら？」

ジャッカル「実はすでに本物の陣は異空間に飛ばされている」

ましろ「あれっ、この人マジイエロー？」

ジャッカル「演者は同じだ、パワーに優れ地上戦を得意とする、ビートバスターに変身する、ビートJスタッグ、陣のバディロイドで空中戦を得意とし空中戦も優れるスタッグバスターに変身する、必殺武器はライオニックバスターで巨大ロボはゴーバスターエース ゴーバスターオー ゴーバスタービート タテガミライオー バスターヘラクレス ゴーバスターキングだ」

透子「平成にしては結構すくないですね」

ジャッカル「そしてヴァグラスだな、首領はメサイアだ、転送センターもろとも異空間に飛ばされたが、そしてメサイアセルに進化する、さらにメサイアリブートに代わる、エンター、敵側のアバターでさらにエンターユナイトにダークバスターに変身する」

紗夜「まさか、アバターなのに変身するとは、しかも闇のレッドバスターに」

日菜「陣って人もアバターだよ」

ジャッカル「そして、エスケイプ」

たえ「このエスケープってアバター」

有咲「言わせねえよ」

たえ「なんも言っていないのに」

ジャツカル「彼女は新たなアバターで、ゴクとマゴクと呼ばれる銃を使う、のちにエスケープエボルブに変身する、そして怪人はメタロイドそしてメサイアロイドで、戦闘員はバグラード」

千聖「そういえば、巨大化方法は？」

ジャツカル「巨大化方法はないが亜空間から、メガゾードと呼ばれる巨大ロボが来る」

花音「バトルフィーバーみたいなのなんですネ」

ジャツカル「そうだ、今日はここまでだな」

紗綾「バトルフィーバーやバイオマンみたいな、巨大化しないってのも珍しいね」

香澄「そうだね」

有咲「おたえ、下ネタはマジで控えろよ」

たえ「わかった」

スーパー戦隊解説 37

ジャッカル「よっしゃ、今回は、こいつらだ、獣電戦隊キョウリュウジャーだ」
彩「今回も久しぶりに恐竜ですね」

ジャッカル「そうだ、遙かな太古、地球に飛来した暗黒種であるデーボス、それと戦った当時の地球の覇者が恐竜たちであった、賢神トリンは選ばれた恐竜たちに機械の身体を与え自らの魂を重ねて獣電竜としデーボスに反撃する、この戦隊もメンバーが多い」

千聖「あらっ、そうなんですな」

ジャッカル「桐生ダイゴ 冒険家の若者で格闘センスに優れるキョウリュウレッドに変身する、イアン・ヨークランドクルに見えるがお調子者でもとは超古代文明を研究していた考古学者で銃撃を得意とするキョウリュウブラックに変身する、有働ノブハル もともとは一流商社に勤務していたが義弟の店を継いで防衛面に秀でるキョウリュウブルーに変身 立風館ソウジ、私立霧咲高等学校に在籍する高校生で剣術を得意とするキョウリュウグリーンに変身する、アミィ結月、アメリカ

カから留学してきたお嬢様で女子大生で蹴り技を主体とするキョウリュウピンクに変身する」

あこ「他に追加戦士もいるんですよ」

ジャッカル「ああ、空蟬丸、こいつは、戦国時代に流れ者だった豪剣だ」

つくし「あれっ、じゃあこの人は戦国時代の？」

ジャッカル「ああ、そして、雷を得意とするキョウリュウゴールドに変身する、そしてここからは、一気に変身者二人行くぜラミレス彼は500年前にヨーロッパで活躍していたキョウリュウジャーで小太りの白人男性だ、福井優子、キョウリュウブルー ノブハルの妹だ、パワー攻撃を得意とする、キョウリュウシアンに変身する」

隣子「ということは青が二人いるんですね」

ジャッカル「ああ、そうだ、そして次は鉄砕、中国で活躍したキョウリュウジャーで津古内真也、青柳ゆうのペンネームで活動している漫画家アミィにとっては大学の先輩にあたる格闘おもに頭突きを得意とするキョウリュウグレーに変身する」

日菜「グレーって初めてだよね」

ジャッカル「そしてドクターウルシェード、彼は天才科学者だそして弥生ウルシェード、ドクターの孫娘で、プレズオンの発進オペレーターもする、キョウリュウヴァアイオレットに変身する、そして最後、賢人トリンキョウリュウジャーの司令官で恐竜たちの指導者だ、桐生ダンテツ、ダイゴの父親で冒険家で剣を得意とするキョウリュウシルバーに変身する」

紗夜「シルバーとグレーって同じじゃ」

ジャッカル「必殺武器はケントロスパイカー、巨大ロボは、キョウリュウジン プテライデンオー プレズオー バクレツキョウリュウジン ギンガントブラキオー ギガントキョウリュウジン スピノダイオーだ次はデーボス軍だ」

美咲「デーボスって恐竜を滅ぼしたっていう」

ジャッカル「ああ、暗黒種デーボスだ、デーボス軍の首領で恐竜を滅ぼした、そして蝶絶神デーボスに変身する、百面神官カオス、デーボス軍の大幹部で祈禱師だ、そして喜びの戦騎キャンデリラ、人間の喜びの感情を集める」

レイヤ「というと、今回の幹部は感情を集めるってことですか？」

ジャッカル「ああ、そうだ、怒りの戦騎ドゴルド、こいつは、怒りの感情を集め

る、そして戦闘力は高いそして哀しみの戦騎アイガロン、こいつは、イアンの敵で戦闘能力も高い、そして楽しみの密偵ラッキューロ、情報収集やモンスターの材料集めを任務とするのとすくすくジョウロでデーボモンスターを巨大化させる」

彩「今回は、ジョウロで巨大化するんだ」

ジャッカル「そして、怨みの戦騎エンドルフ、こいつは怨みの感情を司る、新・喜びの戦騎キルボレロ、キャンデリラに見切りをつけて生み出した戦騎だ、そして新・哀しみの戦騎アイスロンド、より深い悲しみを集めるためにアイガロンに見切りをつけたカオスが生み出した」

友希那「悲しみと喜びの戦騎が入れ替わったなんてね」

ジャッカル「そして獰猛の戦騎D、こいつは、カオスが生み出した初めての戦騎でデスリュウジャーに変身する、怪人はデーボモンスター、戦闘員はゾーリ魔としてカンブリ魔だ、今日はここまでだ」

あこ「まさか、十人も出てくるとは」

つくし「そうだよね」

スーパー戦隊解説 38

ジャッカル「今回は、列車戦隊トッキュウジャーだ」

美咲「今度は電車なんですな」

ジャッカル「ああ、あらすじは西暦2014年、地底から現れた悪のシャドーラインが世界を暗黒に包もうと猛威を振るい始めた、シャドーラインは拠点となる、ステーションを増やすため闇の路線を増やそうとする」

あこ「今回もおもしろそう」

ジャッカル「ライト 戦闘リーダーで好奇心繁盛で前向きな性格だ、格闘センスに優れた、トッキュウ1号に変身、トカッチ、5人の中で唯一の転校生で戦闘力や能力に優れるトッキュウ2号に変身する、ミオ 剣道や合気道、柔道などの武道に精通しているトッキュウ3号に変身する」

友希那「そういえば、色が入ってないのね」

ジャッカル「ヒカリ 影のリーダーでライトとは違い現実主義者、スピーディな動きで確実に敵を倒すトッキュウ4号に変身、カグラ 明るく天然少女なりきり

能力に優れているトッキュウ5号に変身する、虹野明 元シャドーラインのザラムでトッキュウ6号に変身するそして車掌レインボーラインの車掌でトッキュウ7号に変身する」

瑠唯「今回は、7人なんですネ」

透子「本編では6人らしいよ」

ジャッカル「必殺武器はゴレンジャーハリケーンのような攻撃を行う、レインボーラッシュ、そして、巨大ロボはトッキュウオー ディーゼルオー 超トッキュウオー ビルドダイオー 超超トッキュウダイオー ハイパーレッシャテイオー トッキュウレインボーだ」

リサ「やっぱり、強化フォームもあるんですよ」

ジャッカル「ああ、まずは、ゼット、闇の皇帝でゼットの怪人態にそしてゼット真にもなる、そしてネロ男爵、闇の皇帝に使える一人で貴族らしく優美さを重んじているノア夫人、高慢でヒステリックな性格だが娘のグリッタには、甘い、そしてシュバルツ將軍、こいつは、トッキュウジャーを苦戦させる実力を持つ」

有咲「マジか、シュバルツ強すぎだろ」

ジャツカル「モルク侯爵、シャドーラインの中でも最も古株の幹部でシャドータウンの統括責任者だ、グリッタ嬢、ノア夫人の娘でのちに女帝グリッタに変身する、そして怪人はシャドー怪人であとは、シャドータウンの管理人で戦闘員はクローズだ、今日はここまでだ」

彩「トッキュウジャー今度見てみようかな？」

イヴ「そうですね」

ジャツカル「ちなみに管理人の名前の由来はチェスの駒だ」

レイヤ「そうなんですか？」

ジャツカル「しかもシャドー怪人より強い」

マスキング「さすがに、管理人だな、普通の強さじゃないってことか」

スーパー戦隊解説 39

ジャッカル「今回は忍者の戦隊、手裏剣戦隊ニンニンジャーだ」

彩「それで三人目の戦隊なんですね」

ジャッカル「あらすじは、戦国時代、伊賀崎家をはじめとする忍者たちは恐怖による天下統一をもくろむ、史上最悪の戦国武将牙鬼幻月を倒すが、444年後に再び蘇る」

イヴ「そうなんですか」

ジャッカル「まずは伊賀崎天晴 伊賀崎家の長男でリーダー、伊賀崎好天 初期メンバーの5人の祖父 伊賀崎旋風 伊賀崎兄妹の父親で彼らは火の術を得意とするアカニンジャーになる、加藤・クラウド・八雲 イギリス帰りのクールな青年で魔法と忍術を合わせる、アオニンジャーに变身する、松尾風 明るく人懐っこい性格で運動能力に優れるキンジャーに变身する、伊賀崎風花 天晴の妹で忍術を状況に使い分けるシロニンジャーに变身する、百地霞、科学に詳しい女子大生で頭脳戦を得意とするモモニンジャーに变身する」

あこ「そういえば、家庭が複雑なんだね、全員、苗字違うし」

ジャッカル「そしてキンジ・タキガワ、アメリカから来た妖怪ハンターでスターニンジャーに変身する、必殺武器はない、巨大ロボはシュリケンジン バイソング
ング ライオンハオー ゲキアツダイオーだ」

美咲「そういえば、ニンジャブラックもアメリカから来たんだよね」

花音「そうだよね」

ジャッカル「次は牙鬼だ、牙鬼幻月、戦国時代最強最悪の武将で牙鬼城の城主、十六夜九衛門、本名は牙鬼 九衛門 新月で妖怪を巨大化させることもでき究極九衛門にパワーアップする、蛾眉雷蔵、牙鬼軍団の一番槍で牙鬼幻月の忠誠は熱い」
レイヤ「そういえば、今回は九衛門が巨大化させるんですね」

ジャッカル「ああ、そして晦正影、戦士した雷蔵の後釜として現れる、有明の方、幻月の奥方で乱世に咲き乱れし美魔女などと自称する、そして牙鬼萬月、幻月と有明の方の息子で狩りを楽しむ戦闘狂だ、そして、怪人は妖怪、上級妖怪 西洋妖怪
巨大妖怪ガシャドクロ 牙鬼の忍者 戦闘員はスッパラゲ ヒトカラゲ ジュツ
カラゲ ヒャツカラゲ センカラゲだ、何かあるか？」

紗夜「そういえば、西洋妖怪 牙鬼の忍者について知りたいです」

ジャッカル「西洋妖怪はフランケン ドラキュラそしてキンジの仇のオオカミオ
トコだ、牙鬼の忍者は、ハヤブサ イツカクサイ クロアリ ムジナ スズメバチ
だ、ちなみに上級妖怪はヌエ コナキジジイ オオムカデ オボログルマ ビンボ
ウガミ 超上級妖怪はシュテンドウジだ、今日はここまでだ」

イヴ「カクレンジャーにハリケンジャーそしてニンニンジャーそしてシンケン
ジャー見たくなりました」

千聖「イヴちゃんなら氣にいるわ」

スーパー戦隊解説40

ジャッカル「今回は、この戦隊で行くぞ、動物戦隊ジュウオウジャーだ」

あこ「今回は、動物なんですね」

ジャッカル「そうだ、ジュウオウジャーのあらすじは駆け出しの動物学者である風切大和は、とある森の中で仕事をしていた際にお守りとして巨大なキューブ型を落とし、それを拾いに行くと巨大なキューブ型の物体を発見する、そして別世界のジューランドに吸い込まれジューマンと出会う」

彩「というと、もしかして、その大和って人は人間で、他の人は人間じゃないってことですか？」

ジャッカル「そういうことだ、風切大和、駆け出し動物学者でリーダーだ、ジュウオウイーグルに変身するがジュウオウゴリラとジュウオウホエールにも変身可能、そしてイーグル野生大解放、セラ 鮫のジューマンでサブリーダーで水中戦を得意とする、ジュウオウシャークに変身する、レオ ライオンのジューマンで、パワフルな戦いを得意とする、ジュウオウライオン、タスク ゾウのジューマンでイ

ンドア系だ強力なパワーを生かすジュウオウエレファントに変身する」

ましろ「そういえば、名前に色がつかないんですね」

ジャッカル「ああ、そうだ、アム 虎のジューマンで心優しい性格でスピードをするジュウオウタイガーに変身する、そして門藤操 ももとは敵につかまって敵として表れたが、後に仲間になる」

友希那「そういえば、操って人は、人間なのね」

ジャッカル「ああ、そうだ、だが、こいつはとにかくネガティブだ」

美咲「えええ」

リサ「そういえば彼は、なんのジュウオウジャーになるんですか？」

ジャッカル「彼は、サイ 狼 ワニの力を持つジュウオウザワールドに変身する」

瑠唯「三匹の動物の力を持ってるのね」

ジャッカル「そういうことだ、次はデスガリアン、ジニス、デスガリアンのオーナードでブラッドゲームを楽しんでいる」

透子「ブラッドゲーム？」

ジャッカル「簡単に言えば、グロンギのゲゲルって言えばいいか？」

香澄「つまり、殺人ゲームですか？」

ジャッカル「まあ、そんな感じだ、そして、シン・ジニスにパワーアップする、ナリア、ジニスの秘書、彼女は、ジニスの細胞が入ったコンティニューメダルで巨大化させるのが主な役目だ」

レイヤ「そういえば、今回は、メダルなのね」

ジャッカル「そうだ、そしてアザルド、こいつは、ジニスと対等な口調で接しているが、ザワールドの存在を快く思っただけ泣くバングレイにたいしても自身のゲームの妨害をしたという理由で不満を持っている」

千聖「仲間同士のいざこざってよくあるよね」

ジャッカル「そしてアザルドレガシーに変身する、そしてクバル、ジニスに使えるチームリーダーの一人だ、怪人はプレイヤーだ」

燐子「ゲームだから、プレイヤーなんですわね」

ジャッカル「ああ、そして戦闘員はメーバだ、今日は、ここまでだ」

蘭「まさか、グロンギ以外にも殺戮を楽しんでた組織があったなんて」

ひまり「そうだよね」

スーパー戦隊解説41

ジャッカル「今回は、戦隊史上多い人数だ」

彩「そうなんですか？」

ジャッカル「ああ、時ははるか彼方未来一宇宙は泣いていた」

有咲「最初からツツコミが追いつかないんだけど」

ジャッカル「そして宇宙を形成する88の星座系は侵略者宇宙幕府ジャークマターに支配されている、だが希望は立たれてはいなかった、宇宙には一つの伝説がう伝えられている、宇宙が心無き者の手に陥り人々が涙するとき9人の究極の救世主が現れる」

瑠唯「9人ってことは、キョウリュウジャーよりは、少ないですね」

ジャッカル「ああ、前半まではな」

美咲「そうなんですか？」

ジャッカル「そうだ、まずはキュウレンジャーのメンバーだ」

透子「ということは、全員宇宙人ってことですか？」

ジャッカル「ああ、二人除いてはな、ラッキー、しし座系の惑星カイエン出身のヒューマノイド型宇宙人の冒険家で、ダイナミックな戦い方を得意とするシシレッドに変身しタイヨウシシレッド シシレッドムーン シシレッドオリオンになる」
有咲「ちょままま、レッドって言うておきながら、白じゃねえか」

ジャッカル「スティングー、銀河系最強と謳われる惑星ニードルつまりさそり座出身のヒューマノイド型エイリアンで一匹狼だ、さまざまな武器や尻尾の毒針も使用するサソリオレンジに変身するガル オオカミ座系出身で、惑星ジャグジャグの一軒家で生活していたが、キュウレンジャーの戦いを見て仲間になる、スピードを生かした、戦いを得意とする、オオカミブルーに変身する、バランス てんびん座系の出身で機械を操ることが出来る万能な戦いを得意とする、テンビンゴールドに変身する」

つくし「宇宙人って言うても見た目はバラバラなんですな」

ジャッカル「そしてチャンプおうし座系の工業惑星出身で元は対ジャークマター用開発された牛型戦闘用ロボットだ、パワー攻撃を得意とするオウシブラックに変身する、ナーガレイ ヘビツカイ座系出身でヒューマノイド型エイリアンで、感情

を持たない種族の出身だ、相手の動きを止めることのできるヘビツカイシルバーに変身する、ヘビツカイメタルにも変身する、ハミィ カメレオン座系出身のヒューマノイド型エイリアンで、姿を消し敵の目を欺くカメレオングリーンに変身する」
イヴ「まるで忍者ですね」

ジャッカル「ああ、シノビスターだからな、ラプター283、わし座出身系の自身のアンドロイドで、性格は、生真面目だ、射撃能力を得意とするワシピンクに変身、スパイダ、カジキ座系出身で料理が得意で料理人の能力を活かした刃物の扱いに猛カジキイエローに変身する」

ましろ「あと何人いるんですか?」

ジャッカル「あと3人だ」

透子「というと全員で12人、マジか」

ジャッカル「次はショウ・ロンポーでりゅう座系の宇宙人で、キュウレンジャーの司令官、もともとはリュウバイオレットだったが、のちにリュウコマンダーと名乗る、次は佐久間小太郎」

リサ「今度は普通の名前なんですな」

ジャッカル「ああ、彼は惑星チキュウの出身で強力なマフラーと巨大化能力で戦うコグマスカイブルーになる、そして最後、鳳ツルギ、アルゴ船のなかでワールドスリープしていたチキュウ人の男だ、初登場時はこんなんだ」

たえ「うわあ、上半身素っ裸じゃん、というかどっかの社長が、ハイテンションで変身しそう」

ジャッカル「攻撃防御に優れるホウオウソルジャーに変身する必殺武器はないが、巨大ロボはキュウレンオー リュウテイオー リュウテイキュウオー ギガン トホウオー オリオンバトラー スーパーキュウレンオーだ」

友希那「ちょっと疲れてきたわね」

ジャッカル「大丈夫か？次はジャークマターだ、ドン・アルマゲ、ジャークマターの支配者でフクシヨウグン達を巨大化させることができる、次はフクシヨウグン、テツチュウ、分類は鋼鉄宇宙人だ、アキャンバー、フクシヨウグンの紅一点でボーカル宇宙人、ククルーガいつもフクシヨウグンの一体でサイボーグ宇宙人、そして幹部だ」

レイヤ「幹部はどんな敵なんだろう」

ジャッカル「エリードロン、いて座を統轄している、スコルピオ、ステインガーの兄だ、そして刺客だ、イカーゲンは軟体宇宙人そしてマーダッコ、彼女も軟体宇宙人だ、ちなみに死ぬごとに性格が変わる」

マスキング「なんでだ？」

ジャッカル「そこまでは知らん、そして戦闘要員はダイカーンで戦闘員はインダベーだ、今日はここまでだ」

紗綾「そういえば、ジュウオウジャーの必殺武器と巨大ロボは？」

ジャッカル「やってなかったっけ？ 必殺武器はなく、巨大ロボはジュウオウキング ジュウオウワイルド トウサイジュウオー ドデカイオーだ、次は、本編では初めての構成の戦隊だ」

隣子「なんか初期メンバーが全員宇宙人って初めてだね」
あこ「そうだね」

スーパー戦隊解説42

ジャッカル「今回は、こいつらだ」

彩「こいつら？ 複数形？」

ジャッカル「ああ、今回は、怪盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーだ」

ひまり「今回は二組なんです」

ジャッカル「ああ、あらすじは今から約100年前に活躍していた希望の大怪盗アルセーヌルパンが密かに収集していた秘宝ルパンコレクション、人類を繁栄させることも滅ぼすこともできる力がある、秘宝が犯罪者集団ギャングラーに盗まれる」
あこ「警察と怪盗ってかっこいい」

ジャッカル「まずはルパンレンジャーからだ、夜野魁利、ルパンレンジャーのリーダーを務めている、兄と二人暮らしだったが、兄と道端で喧嘩した直後にザミーゴによって失っておりルパンレッドに変身する、宵町透真 かつては都内のフランス料理店で働いていたが婚約者の大平彩を失ったことで退職」

つくし「もしかして失った原因ってザミーゴって奴が」

ジャッカル「そうだ、ルパンブルーに変身する、そして早見初美花で一番のしつかり者、親友の一ノ瀬詩穂を失い琥珀ヶ丘女子高校を中退しルパンイエローとなる」
リサ「つまり選ばれた原因はそのザミーゴってやつに大切な人を失っているってこと」

ジャッカル「そうだ、次はパトレンジャー朝加敬一郎、パトレンジャーのリーダーで熱血警察官でパトレン1号に変身する、陽川咲也 お人よしでだまされやすい警察官だが射撃の腕はいい、パトレン2号になる、明神つかさ クールで男勝りな女性警察官だがかわいいものが好きだという一面でパトレン3号に変身する」
紗夜「結構、おもしろそうですね」

ジャッカル「そして追加戦士、高尾ノエル、フランス本部に所属する潜入捜査官でルパンエックスとパトレンエックスに変身する」

日菜「あれっ、一人で二つの戦士になるんだ、るんってくる」

ジャッカル「必殺武器はルパンマグナム、ルパンカイザー パトカイザー エックストラベラー グッドクルカイザーVSX ルパンマグナム(ロボモード)だ」

イヴ「銃が巨大ロボになるって初めてですね」

ジャッカル「そしてギャングラー側だ、ドラグニオ・ヤーブン、ギャングラーのボスでルパンコレクション強奪した、デストラ・マッジョ ドラグニオの右腕で忠実な用心棒でステイタスダブルゴールドと呼ばれる金色の金庫を持っており、強力なパワーが武器だ、そしてゴーシュ・ル・メドウ、ギャングラーの女医で性格は残忍でサディスティックな性格でルパンコレクション大きくなれでギャングラーを巨大化させる」

美咲「あらっ、その元になったものどこかで」

ジャッカル「よく気付いたな、今回のルパンコレクションは、ゴーゴーフアイブのテイルインジェクターで主な使用者はゴーピンクだ」

燐子「じゃあ、ルパンコレクションって過去の戦隊のモチーフになってるんですか？」

ジャッカル「そうだ、そしてザミーゴ・デルマ」

ひまり「確かルパンレンジャーの大切な人を奪っている」

ジャッカル「ああ、そうだ、こいつは、氷の力を使うことができる、そして怪人

はギャングラー怪人だ、戦闘員はボーマンだ、今日はここまでだ」

日菜「なんか面白そう」

彩「そうだよね」

スーパー戦隊解説43

ジャッカル「今回は、騎士竜戦隊リュウソウジャーだ」

あこ「また恐竜なんですネ」

ジャッカル「ああ、太古の昔、古代人類リュウソウ族は武装した恐竜、騎士竜を仲間とし地球征服をもくろむ邪悪なドルイドンと戦い続けるが、6500年前に隕石が落下したため、ドルイドンは地球を逃亡するが再び現れる」

香澄「そうなんですネ」

ジャッカル「コウ、好奇心繁盛で活発な青年、勇猛の騎士リュウソウレッドに変身する、メルト、コウとアスナの幼馴染で冷静沈着で慎重派だが興味のあることは積極的になる叡智の騎士リュウソウブルーに変身する、アスナ コウとメルトの幼馴染で高貴な家柄の生まれで怪力の持ち主で剛健の騎士リュウソウピンクに変身する」

巴「なかなかおもしろそうだな」

ジャッカル「トワ、バンバの弟で自信家で負けず嫌いでスピードと剣術にたけて

いる、疾風の騎士リユウソウグリーンに変身する、そしてバンバ 不愛想で口数が少ないが弟思いだ、威風の騎士リユウソウブラックに変身する、そして、カナロ海のリユウソウ族で婚活に励んでいる」

ひまり「うそお」

ジャッカル「栄光の騎士リユウソウゴールドに変身、必殺武器はないが、巨大ロボは、ナイトロボ キシリユウネプチューン ヨクリユウオーだ」

つぐみ「あれっ、3体だけなんですね」

ジャッカル「ああ、そしてドルイドン、エラス、ドルイドンの生みの親だ、タンクジョウ、ドルイドンのルーク級幹部で頑丈な体を持つそしてワイズルー、ドルイドンのビショップ級幹部でナルシストだが実にホワイト上司だ」

蘭「どういふことですか？」

ジャッカル「それものにわかる、ガチレウス、ドルイドンのルーク級幹部でまったくもってのブラック上司だ、ウデン ドルイドンのビショップ級の幹部そしてプリシャス、ドルイドンのナイト級幹部だ」

花音「ドルイドンの幹部って全員チェスの駒なんですね」

ジャッカル「そうだ、サデン ウデンと同じでビショップ級の幹部だ、そしてガ
ンジョージ、プリシャスと同じナイト幹部だ、ヤバソード、ドルイドンのキング級
の幹部だ、クレオン、ドルイドンの尖兵だが、他星で生まれた異星人で、人間に緑
色の液体を飲みましマイナソーを生み出す、そしてガチレウスにこき使われ過労死寸
前までに行く」

モカ「さっきの言葉ってそういう」

ジャッカル「怪人はマイナソーだ、戦闘員はドルン兵だ」

友希那「そういえば、マイナソーの巨大化方法って？」

ジャッカル「ああ、それは人間のマイナスエネルギーを吸収し巨大化する、今日
はここまでだ」

あこ「なんか、リュウソウジャーも面白うですね」

燐子「そうだね」

スーパー戦隊解説44

ジャッカル「今回は、先週終わった魔進戦隊キラメイジャーだ」

彩「そうなんですか？」

ジャッカル「ああ、あらすじとしては闇の帝国ヨドンヘイムは美しい星々を次々と侵略していった、そして美しい宝石の星クリスタリアも侵略始める、王女である、マブシーナとキラメイストーンは地球に逃亡、そして四人をスカウトしたところに残りの一人を探していた」

美咲「ということは、今回も別の星の人たちなんですか？」

ジャッカル「まあ初期メンバーはな、まずは、熱田充瑠、光ヶ峰高校に通う高校生で、創の戦士キラメイレッドに変身する、射水為朝、eスポーツ界のNo.1プレイヤーで射の戦士キラメイエローに変身する、速水瀬奈 100メートル走の日本記録を持つ女子陸上界のスーパースター、速の戦士キラメイグリーンに変身する」
蘭「なんかみんなすごい」

ジャッカル「押切時雨 知名度と人気がある、アクション俳優だ、斬の戦士 キ

ラメイブルーに変身する、大治小夜 マスコミでも美人過ぎる女医として有名な外科医、治の戦士キラメイピンクに変身する、クリスタリア宝路、マブシーナの義兄、博多南無鈴の兄でシャイニーブレイカーでの攻撃を得意とする、キラメイシルバーに変身する」

つぐみ「レッドとシルバー以外、みんなすごい有名人じゃん」

ジャッカル「必殺武器はキラフルゴーアロー、巨大ロボはランドメイジ スカイメイジ キラメイジン キングエクスプレス スモッグジョーキー ギガントドリラー グレイトフルフェニックスだ」

瑠唯「なんか宝石であるのか、目が痛いわ」

ジャッカル「次は、ヨドンヘイムだ、ヨドン皇帝、ヨドンヘイムの皇帝でヨドンヘイムの支配者、ヨドンナ ヨドン皇帝の秘書で悪漢鞭でたたくと、邪面獣やベチャットを強化する、ヨドン皇帝の人格だ、シャドン、闇のハンターでヨドン皇帝のもう一つの人格だ」

あこ「えっ、ヨドン皇帝って、二つも人格があるんですか？」

ジャッカル「ああ、ガルザ、ヨドン軍の鬼將軍で、元クリスタリアの王オラディ

ンの弟でマブシーナの叔父だ」

レイヤ「なんでヨドンヘイムに?」

ジャッカル「ヨドン皇帝の記憶操作のせいだ、克蘭チュラ、ヨドン軍の作戦参謀で、邪面と呼ばれる仮面を用いて邪面師を作り出す、ヌマージョ 淀みの海の魔女でオラディンにオラディンが愛する女性が7日後に砂になる呪いをかける、そしてミンジョ、これは映画だから、見てないから分かってる部分だけで言うというが全くないがな」

リサ「まあ、映画見てないなら仕方ないよね」

ジャッカル「こいつは、ヌマージョの妹だ、そして怪人枠は邪面師だ」

友希那「そういえば、巨大化はしないのかしら?」

ジャッカル「巨大化はせず、ヒルトン リガニー シェルガ バスラ ダガメス
ゴモリウという邪面獣と呼ばれる巨大兵力だ」

ましろ「というバトルフィーバーやゴーバスターズと同じってことですか?」

ジャッカル「ああ、だが違う点がある」

つくし「そうなんですか?」

ジャッカル「ああ、例えば、火の玉怪人なら、火の玉ロボット　ダンガンロイドならダンガンゾードだが、モグラタタキ邪面ならハンマーバズラだ」

ひまり「あれっ、エゴスとヴァ格拉斯は同じなのにヨドンヘイムは違うんですね」
ジャッカル「ああ、だが、マンリキ邪面とセツチャクザイ邪面とキョウリョクセツチャクザイ邪面は同じだがな、今日はここまでだ、あと、今回のゼンカイジャーはまだ放送してないからな」

ひまり「なんか面白かった」
つぐみ「そうだね」

スーパー戦隊解説45

ジャッカル「今回は、そうだな、一通り解説、終わったから、敵側の全部は無理だが一般怪人でもやってくか？」

あこ「そうですね」

ジャッカル「そうだな、どうすっかな、ゴレンジャーから行くか、キラメイジャーから行くか」

彩「キラメイジャーの邪面師が気になる」

ジャッカル「そっか、じゃあ、まずは、こいつだ、マンリキ邪面だ、この回ではやキラメイジャーのギャグ回の一つで、こいつは、マンリキを人間に地球人の頭に締め付け邪面獣に必要な、闇エナジーを急速に集め始める、キラメイジャーとの戦闘になるが、ブルーの猛攻に追い込まれるがだまし討ちをしてブルーにも万力を埋め込むことに成功」

リサ「だまし討ちって見た目によらず古典的な」

友希那「それに騙される方も騙される方だけ」

ジャッカル「そして、ハンドルがないと取れないこという捨て台詞を残し去っていく」

燐子「あれっ、なんか、これ奪われるフラグな気が」

ジャッカル「そして別な場所と同じ作戦をやっていたがキラメイグリーンの飛び蹴りで取りつかれハンドルを逆に回される」

レイヤ「逆に回された」

マスキング「そりゃあ、あんな捨て台詞をいうからな、狙われるだろ」

ジャッカル「最後は、ブルーブライトスラッシュを受け倒される、次はネアンデルタールジン邪面だ」

千聖「ネアンデルタール人を元にした邪面獣、どんな作戦でやったのかしら」

ジャッカル「・・・ああ、そのことだが、効率よく生み出したらしい」

たえ「らしいって？」

ジャッカル「実はこの邪面師、姿が明かされずにしかも物語開始前に倒されていたことが発覚している」

有咲「ちょままま、マジかよ」

ジャッカル「そして、次はSL邪面」

つくし「今の時代にSLって」

ジャッカル「こいつは、頭頂部にある煙突から噴き出す黒煙ヨドン黒煙をまき散らし疾走する」

ましろ「あれっ、ただ走り回ってるだけなら、問題ないんじゃない」

ジャッカル「こいつは、地獄環境伏線魔法陣作戦を実行する」

あこ「魔法陣ってかっこいい」

ジャッカル「本来は、ガルザの所有する魔進ジョーキーを用いての同時進行だったが当のジョーキーを使わせるのを拒否したためSL邪面が出現するようになる、ちなみにジョーキーを借りディーゼルバズラとの巨大戦に移る」

蘭「でもガルザはジョーキーを貸すの嫌がってたよね」

ジャッカル「ああ、だが、キングエクスプレスの攻撃に怒ったディーゼルバズラから逃げようとするも踏みつぶされる、ちなみにガルザは二度とジョーキーを邪面師には貸さない様子」

透子「まさか踏みつけられてやられるとは」

ジャッカル「次は、セツチャクザイ邪面だな、こいつは、アリとあらゆるものをくつつけることができそれを混乱を引き起こす、そして、キラメイジャーとの戦闘でもキラメイソードをくつつけて使えなくする、そしてキラメイショットの跳弾を封じる」

瑠唯「この邪面士、意外にやるわね」

ジャッカル「そして、充瑠のあとを追ってきたクラスメートの柿原瑞希を見つけマンホールの蓋を投げつけてくつつけようとする」

美咲「ちょっと待って、マンホールは投げるものじゃないし」

ジャッカル「そして、充瑠はとっさに瑞希の手をつかんだ結果、互いの手が離れなくなる」

あこ「あれっ、これって」

ジャッカル「ああ、そういうことだ、そして、さらにそしてベチャットをくつつける」

リサ「これってクラスメートとベチャットがくつついてるってことですよね」

ジャッカル「そうだ、そして、まあ工作という名のワンダーハンマーでつぶされ

る、次は、こいつだハリガネ邪面」

紗綾「ハリガネってめずらしいね」

ジャッカル「こいつは、人間に化けることが出来る、そしてこいつは、漫画家志望の青年を利用し精神攻撃を使い、闇エナジーを集める」

紗夜「精神攻撃とは、人間には、もっとも通用するわね」

日菜「その青年ってどうなったの？」

ジャッカル「ああ、その青年は、ジイシキシエルガに変貌させる」

花音「ということは、初の間がシエルガになったってこと？」

ジャッカル「そうだ、最後は、スパークリングフェニックスを受け倒される、最後はこいつだ、マネキネコ邪面」

友希那「猫の邪面師」

ジャッカル「こいつは、最近満足のいく邪面を作れずスランプに陥ったクラッチュラがヨドンナに対抗して生み出した邪面師だ、そして、この回はギャグ回でもある」

彩「なんかかわいい邪面師だね」

ジャッカル「こいつは、充瑠 瀬名 小夜を猫人間に変える、残りのキラメイジャーも猫になった3人に翻弄され混乱、戦闘どころじゃなくなるがマネキネコ邪面の方もどこかへ行ってしまおう」

友希那「猫は気まぐれだから仕方ないね」

ジャッカル「そして、克蘭チュラが充瑠に教えた猫人間にされた3人が猫起こしを行ったため意識が回復、キラメイにゃーとなり挑まれる」

ましろ「これ、すでにギャグ回だったね」

ジャッカル「そしてギガントドリラーがネコカンリガニーをひるませるために掘り当てた温泉が降り注ぎマネキネコ邪面はパニックになり最後は、スパークニャングフェニックスで倒される、今日はここまでだ」

友希那「マネキネコ邪面、かわいかったわね」

リサ「確かにギャグ回だったけどね」

スーパー戦隊解説46

ジャッカル「今回は、リュウソウジャーの敵のドルイドンだな」

あこ「今回はドルイドンなんですな」

千聖「確かマイナソーって人間のマイナスエネルギーから生み出されたっていう」
ジャッカル「そうだ、まずは、メドゥーサマイナソーだ、龍井ういから生み出されたマイナソーで動画配信数を稼げる思ったところにクレオンと接触し、生まれた、そしてしばらくし、街中に現れる」

燐子「そういえば、メドゥーサって目を見た人を石にする怪物ですよ」

ジャッカル「そうだ、こいつも中継映像を見ていた人間も含め多くの人間を石にするが最後はキシリュウオーファイナルブレードを受け倒される、ちなみに経験値は304だ」

彩「経験値って？」

ジャッカル「そこまではよくは分からん、ちなみに304はスマートフォンのごろ合わせだ、次は、ミミックマイナソー、こいつはとある骨董店にあった箱庭から

生まれたマイナソーだ」

美咲「あれっ、マイナソーって人間から生まれるんですよね、無機物からも生まれるんですか？」

ジャッカル「ああ、そうだ、長く開けられてなかったというマイナスエネルギーから生まれた、そして最後は、バンパの一閃で箱庭を失ったため倒される、経験値は339だ」

紗綾「ということは経験値はミミックなんですね」

ジャッカル「そうだ、次は、アラクネーマイナソー、こいつは、ひなた小学校の教師、飯村美佐子から生まれたマイナソーで、子供らにルールを守ってほしいというマイナスノエネルギーから生まれると手始めに手始めにワイズブルーを転送する」
つくし「あれっ、ワイズブルーって味方じゃ」

ジャッカル「ああ、実は、ワイズブルーは高笑い禁止のルールに引っかかる」

有咲「ちょまま、それって自爆じゃん」

ジャッカル「そういうことだ、そして次々に転送していくが、ルールに縛られず自由に動けるようになったリユウソウブルーと交戦するも戦闘中に転んでサッカー

ボールを踏み潰したために自分でルールを破り苦しみ出す、最後は、ギガントキシリュウオーのギガントダブルバイトで倒される、経験値は335だ」

瑠唯「自分でルールを破るとは自業自得ね、そしてルールを守る大切さがわかる回ね」

ジャッカル「次は、デュラハンマイナソー、こいつは外科医のプリンスとまではやされてる高スペック男子 三浦敦史の高スペックな自分が結婚できないのは女性が悪いというマイナスの感情から生まれた」

透子「はあ、なにそれ、それって自分のせいじゃん」

紗夜「最低ね、その宿主、自分勝手ね」

ジャッカル「かなりの戦闘能力でブラック グリーン ゴールドを追い詰める、そして、マイナスの感情を誘発させパワーアップし、宿主の怒りを振り撒きながら女性の視界を奪う」

友希那「宿主の影響が反映されてるせいか、自分勝手ね」

ジャッカル「だが、ガイソーグが現れエンシェントブレイクエッジを食らいレッドのディーノソニックブローで倒される、経験値は、974だ」

リサ「デュラハンだけに首無しね」

ジャッカル「今日は、ここまでだ」

蘭「しかし、デュラハンマイナソーの宿主最低だったね」

ひまり「そうだよね」

スーパー戦隊解説47

ジャツカル「よっしゃ、久しぶりに行くぜ」

あこ「今回は、なんでしたっけ？」

ジャツカル「今回は、ギャングラーだ、そうだな、まずは、こいつだな、ライモン・ガオルファングだ」

彩「あれっ、ライオンなのね」

ジャツカル「こいつは、幹部クラスと同等のステイタスワールドに分類される、しかもこいつは、ルパンコレクション、医者医者の能力によりバラバラになっても瞬時に再生することができる」

千聖「バラバラになってからの再生って厄介ね」

ジャツカル「最後は、グッドクルカイザーVSXのグッドクルカイザービークルラッシュストライクを受け倒される」

紗夜「そういえば、このルパンコレクションってライブマンのツインブレスがモチーフなんですわね？」

ジャッカル「ああ、罪は共謀狂暴罪だ、次は、アニダラ・マキシモフだ、こいつは、第4話でラブルム・ジョウズが連続密室消失事件を起こしていたのと同時期にアニダラとともにトリガーマシンクレーンとトリガマシンドリルを入手しギャングラーの後継者になろうとする」

蘭「でもこれ、クレーンとドリルの入手に成功したってことだよな」

ジャッカル「と思うじゃん」

六花「どういうことですか？」

ジャッカル「実は、この時に運悪く逃げ遅れてパトカイザーによって気づかれることすらなく踏みつぶされる」

全員「えええええ」

ジャッカル「だが、金庫は国際警察の科特研で保管されていたがザミーゴの情報で国際警察へ侵入したゴースユによって復活する」

美咲「よかった、あのまま気づかれないうままやられたかと思った」

ジャッカル「ちなみに目的は、パトレンジャーへの復讐だ」

レイヤ「あれっ、パトレンジャー側はアニダラを踏みつけたこと気づいてないん

だよね」

ジャッカル「そういうことだ、ルパンコレクションはクレインから幸運の大当たり、罪状は国際特別警察巨大襲撃および無差別損壊だ、ちなみに幸運の大きたりには追尾能力を付与することができる」

マスキング「マジか、追尾能力って」

モカ「そういえば、モチーフって？」

ジャッカル「カーレンジャーのカーナビックだ、次は、実験体だ」

つぐみ「何こいつ、金庫5つあるじゃん」

ジャッカル「こいつはゴーシュが作った腎臓ギャングラー怪人だ、ルパンコレクションは悪い奴らでルパンコレクションの弱体化 あなたを起こすで爪からの斬撃十字路で脚力強化 私を呼んででバリアの生成しさらに炎攻撃の可能になる燃えるような恋になる」

有咲「はあ、ルパンコレクションの弱体化に斬撃 脚力強化 バリア生成 炎攻撃ってチートにもほどがあるだろ」

リサ「でもこれってゴーカイジャーのモバイレーツ マジレンジャーのマジ

フォン シンケンジャーのショドウフォンだよね」

友希那「あとは、ゴーオンジャーのゴーフォンにボウケンジャーのアクセルラーね」

ジャッカル「ああ、全部言ってくれた、最後はサモーン・シャケキスタンチンだ」
香澄「名前長い」

ジャッカル「こいつの犯罪歴はシャケハラスメントで、ルパンコレクションは飢えた獣のようにで嗅覚強化」

つくし「シャケハラって」

ジャッカル「こいつは、シャケが好物で他人へ配布する切り身配りでシャケを押し付ける」

瑠唯「それって、単なる迷惑行為ね」

ジャッカル「しかも、パトレン2号とのクリスマスにはチキンということに妙な対抗心を燃やし強制的に通行人の口に放り込み、鶏肉店やローストチキン店に押し入り強奪後シャケを並ばせ、街頭放送をジャックしチキンを食うなどとのアピールする」

美咲「うわっ、しょうもな」

日菜「でも面白いじゃん」

ジャッカル「最後はグッドストライカーサンタサンダープレゼントで爆破する、今日はここまでだ」

透子「サモーンがやってるのって犯罪というかいやがらせだね」

千聖「でも、クリスマスに鮭もいいよ」

スーパー戦隊解説48

ジャッカル「今回は、キュウレンジャーの敵、ジャークマターだ、まずは、こいつだ、シャイドス、出身惑星はヤマネコ座の惑星ピーポーだ、こいつの特徴は影と影の間を行き来することができる」

千聖「最初から、なんか強そうね」

ジャッカル「こいつは、オサツマクローでひっかくヒットアンドアウェイ戦法を得意とする」

彩「そういえば、そのシャイドスって奴はどんな影にも移動出来るんですか？」

ジャッカル「ああ、相手が飛んでいようが関係ない」

マスキング「厄介だな」

ジャッカル「しかもこいつは煽り耐性はないが地獄耳だ」

彩「それって悪口言った場合って」

ジャッカル「ああ、こいつの特性上悪口を言った奴を即座かつ安全にやり返せるためだ」

有咲「ちょま、なんだよ、その子供みたいなの」

香澄「つまりやられたらやり返す」

有咲「これ以上はいけない」

ジャッカル「ちなみにこいつは、昼間の時間を延長し強制労働させ睡眠不足で苦しめる」

イヴ「睡眠時間を減らすって天敵ですね」

紗夜「ですが、これには、シャイドスの能力にもかかわってるのでは」

リサ「確かにそうだよね、影を移動するなら夜になってもらっては困る、睡眠時間で苦しめ自分は、影に潜れる、厄介だよね」

ジャッカル「ああ、そうだ、次はこいつだ、スコルピオ、こいつは、サソリ座星系・惑星ニードルだ」

レイ「あれっ、惑星ニードルって、ステインガーの出身と同じ」

ジャッカル「そうだ、こいつは、ステインガーの兄だ」

透子「となると兄弟対決ってことですか？」

ジャッカル「そういうことだ、こいつは、突然、故郷の裏切り滅亡に手を貸し、

現在はジャークマターの最強の殺し屋だ」

あこ「最強の殺し屋ってかっこいい」

燐子「つまり、力に溺れたってことですか？」

ジャツカル「今度は、牛型汎用破壊兵器ゼロ号だ」

こころ「あれっ、このロボット、確かチャンプって宇宙人に」

ジャツカル「ああ、こいつは、チャンプのプロトタイプでアントン博士が設計したジャークマターの殺戮兵器だ」

たえ「なんかやばそう」

ジャツカル「こいつは、ターゲットの生命反応をゼロにするまで半永久的に戦闘する機能を持っている、武器は180mm猛牛火舌 30mm猛牛魔震貫そして猛牛風米嵐だ」

瑠唯「このロボット厄介ね」

ジャツカル「だが、最後は、キュウレンジャーのオリオンビッグバンキャノンを受け倒される、最後はアキャンバー、こいつはフクシヨードグンの一人でカシオペア座星系出身の宇宙人で鳳ツルギ抹殺の勅命を受け、テッチュウが敗れた後に出現」

蘭「この胸部の奴ってトリケラトプスなんですか？」

ジャッカル「そうだ、ツルギ曰く300年前より強くなっているってことだ」

ひまり「そうなんですネ」

ジャッカル「こいつは、コワイロ声で平衡感覚を狂わせることが出来る、今日は、ここまでだ」

つぐみ「シャイドス、さすがに厄介でしょ」

ひまり「そうだよね」

スーパー戦隊解説49

ジャッカル「久しぶりだな」

彩「そうですね」

ジャッカル「そうだ、こんな時期だからな、お前らの席もソーシャルディスタンスを取った」

千聖「そういえば、今回は何からだったのかしら」

ジャッカル「今回は、デスガリアンだな、はじめはチームアザルドのヤバイカーだ、こいつは、肩のラッパから流す、騒音で他の生物を暴走させる、そしてパラリラノイズといわれるコンボ技で聞いたものの理性を吹き飛ばす」

日菜「うわあ、完全に暴走族じゃん」

ジャッカル「ちなみに、ヒールウィールといわれるものをフル回転させ高速突進や回避もできる、ちなみに性格はヤンキーだ」

透子「マジ？」

ジャッカル「こいつは、前述の通りに生物を狂暴化させ自滅させるブラッドゲ-

ムを行うがレオが偶然出会った青年を凶暴化させるがレオには通じなかった」

ましろ「あれっ、パラリラノイズって生物を狂暴化させるんですよね、なんでレオには通じなかったんですか？」

ジャツカル「ああ、ヘッドホンを借りてたからな無効化させてしまうそして自身の能力を把握したレオで耳をふさがれるがセラだけには聞こえてしまう」

つくし「あれっ、なんでセラだけ」

瑠唯「サメは聴覚と嗅覚がいいのよ、そのためサメのジューマンである、セラは聞こえるのよ」

ジャツカル「そういうことだ、そして一度撤退しパラリラノイズバージョン2にパワーアップしたことによりヘッドホンを破壊」

美咲「パワーアップをされたらさすがに」

ジャツカル「だがレオの咆哮でバージョン2が相殺しヤバイカーカスタムを破壊され最後は巨大化した所、ジュウオウ斬りとワイルドキャノンビームで倒される、次は、チームクバルのプレイヤーのオモテウリヤーだ」

あこ「こいつはどんな能力なんですか？」

ジャッカル「こいつは、人間が心の中に隠している本音を邪悪な物に変え表の顔に曝け出すリバーシって技を得意とする、ちなみに前と後ろに顔がある」

隣子「なんかやばそう」

ジャッカル「こいつは、街中でリバーシを使い混乱させるがジュウオウジャー達に発見されるがタスクと操以外のメンバーを仲違いをさせるが、レオだけは変化なしになる」

花音「なんでレオには？」

こころ「そっか、オモテウリヤーの能力は裏の顔と表の顔を反転させる能力で表裏がない人物には、効果が無いってことね」

ジャッカル「そういうことだ、だがこいつの目的は各国首脳を仲違いさせるためにサミットへ乗り込もうとしたところにジュウオウホエールのジュウオウファイナルを受け倒されるが巨大化」

薫「なんということだ」

ジャッカル「最後は、ジュウオウダイレクトショットとドデカイオーシャンズプッシュを受け倒される、最後はバングレイだ」

友希那「なんかやばいわね」

リサ「そうなの？」

友希那「ええ、こいつは、やばいオーラが出ているわ」

ジャッカル「友希那のいう通りだ、こいつは、相手の記憶を読み取り過去の存在を実体化させることができジュウオウジャーを苦しめた、しかもマーベラスの記憶を読み取る」

香澄「マーベラスって確か、ゴークアイジャーの」

ジャッカル「ああ、28 29 話はゴークアイジャーとのコラボでマーベラスから外道の血祭ドウコク ヴァグラスのエンターユナイト エスケイプエボルブ デーボスの蝶絶神デーボス シャドーラインの闇の皇帝ゼット 地球救星計画の救世主のブラジラを実体化させる、鎧からはザンギヤック歴代皇帝の怨念の集合体であるゴクドス・ギルを巨大化した状態で出現」

有咲「ちょま、それやばいって」

ジャッカル「最後は、ワイルドトウサイドデカキングのジュウオウドデカダイナマイトストリームを受け倒される、今日はここまでだ」

レイヤ「バングレイやばい奴じゃん」
マスキング「そうだな、記憶を読み取るとかやばいだろ」

ガールズバンドと過ごす日常 番外編

2

著者 リゲイン

発行日 2021 年 8 月 1 日

ハーメルン -SS・小説投稿サイト-

<https://syosetu.org/novel/251186/>

本書の内容を無許可で転載・複写・複製することは、禁じられております。